

新 CONTROL PANEL_v2.2

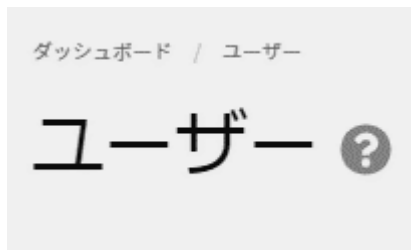
操作方法

目次

各機能の概要・操作説明について	3
ログイン	3
ログイン	3
アカウントの一時的なロックに関して	4
ログアウト	4
ユーザー権限	5
ユーザー権限設定	5
ユーザー権限と Control Panel の機能一覧	5
ダッシュボード・マイアカウント	7
ダッシュボード	7
マイアカウント	8
パスワード変更	9
受信済みメール削除	11
メールフィルター設定（転送設定や迷惑メール対策）	13
メール自動返信設定	18
ウェブメール	20
ユーザー	22
ユーザー	22
ユーザー新規追加	23
ユーザーCSV 管理	25
ユーザー編集	29
ユーザー削除	30
ユーザー切り替え	31
メール	32
メール／メール使用量	32
ヴァーチャルメールアドレス	35
メーリングリスト	37
一括迷惑メールフィルター	43
メール機能一時停止	44
海外 SMTP 認証制限	45
送信ドメイン認証（DKIM 設定方法）	47
FTP	50

FTP（アカウント一覧および新規追加）	50
Web	51
Web	51
ディスク使用量	52
プレビューサーバー	53
ファイルマネージャー	54
PHP 設定	63
WP キャッシュ（WordPress 表示高速化）	64
カスタムエラー	72
cron 設定（旧コマンドスケジューラー）	73
モバイル設定（旧シングル URL）	76
データ移行ツール	78
アクセス	80
アクセス	80
アクセス解析	81
アクセス制限	83
データベース	96
MySQL データベース（MySQL8.0/5.7）	96
データベース設定/旧データベース（MySQL5.1）	105
アプリケーション	114
アプリインストーラー	114
インストール	114
アンインストール	117
標準 CGI	118
各種パス	119

各機能の概要・操作説明について



各メニューに表示される  アイコンをクリックすると、機能概要がポップアップで表示されます。

ログイン

ログイン

ログイン URL にアクセスし、必要な情報を入力して［送信］ボタンをクリックします。

ログイン URL	※貴社コントロールパネルのログイン URL をご入力ください
----------	--------------------------------

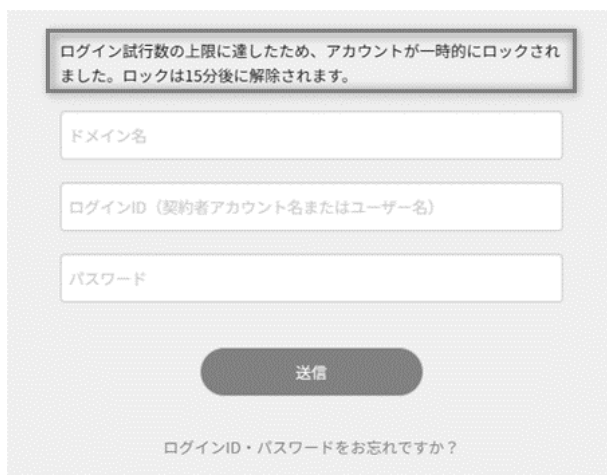
 A screenshot of the login form. It contains three input fields: 'ドメイン名' (Domain Name), 'ログインID (契約者アカウント名またはユーザー名)' (Login ID (Contractor account name or user name)), and 'パスワード' (Password). Below these fields is a rounded button labeled '送信' (Send).

ドメイン名	ご契約のドメイン名をご入力ください
ログイン ID	契約者のユーザー名・コントロールパネルで作成されたユーザー名
パスワード	各ユーザーに割り当てられたパスワード

アカウントの一時的なロックに関して

Control Panel は 24 時間以内にドメイン名、ログイン ID が正しく、パスワードのみを連続で 15 回間違えた場合、15 分間のログインロックが掛かります。以下のメッセージが表示された場合は 15 分後にあらためてログインをお試しください。

一度でもログインに成功すると 24 時間以内に 15 回のカウントはリセットされます。



ログイン試行数の上限に達したため、アカウントが一時的にロックされました。ロックは15分後に解除されます。

ドメイン名

ログインID (契約者アカウント名またはユーザー名)

パスワード

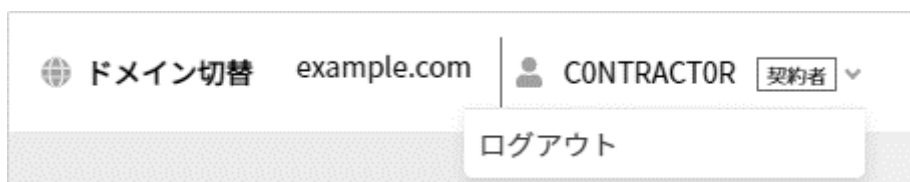
送信

ログインID・パスワードをお忘れですか？

ログアウト

Control Panel の右上に表示されるユーザー名と権限のプルダウンの箇所をクリックすると、[ログアウト] が表示されます。

[ログアウト] をクリックして、ログアウトできます。



🌐 ドメイン切替 example.com | 👤 CONTRACTOR 契約者 ▼

ログアウト

ユーザー権限

ユーザー権限設定

ユーザー権限は以下のとおりです。

契約者	契約に関する手続き
ドメイン管理者	契約に関する手続き以外のすべての手続き
サイト管理者	主に Web に関する設定
一般ユーザー	個人のメールアカウントに対する設定変更

ユーザー権限と Control Panel の機能一覧

	契約者	ドメイン管理者	サイト管理者	一般ユーザー
ユーザー				
ユーザー新規追加	●※1	●※2	—	—
ユーザーCSV 管理	●※1	●※2	—	—
ユーザー編集	●	●	—	—
ユーザー削除	●	●	—	—
マイアカウント				
ユーザー情報	—	●	●	●
パスワード変更	—	●	●	●
受信済メール削除	—	○	○	○
メールフィルター設定	—	○	○	○
メール自動返信設定	—	○	○	○
ウェブメール	—	○	○	○
メール				
メールボックス使用量確認	●	●	—	—
メールアドレス	●	●	—	—
メールリングリスト	●	●	—	—
ヴァーチャルメールアドレス	●	●	—	—
迷惑メールフィルター設定	●	●	—	—
メール機能停止	●	●	—	—
FTP				
FTP アカウント新規作成	●	●	—	—
FTP アカウントでの接続	—	●	●	—

Web				
ディスク使用量設定	●	●	—	—
ファイルマネージャー	●	●	●	—
プレビューサーバー	●	●	●	—
PHP	●	●	●	—
カスタムエラー	●	●	●	—
cron 設定	●	●	—	—
データ移行ツール	●	●	●	—
アクセス				
アクセス制限	●	●	●	—
アクセス解析	●	●	●	—
データベース				
MySQL データベース	●	●	●※3	—
アプリケーション				
アプリインストーラー	—	●	●	—

※1. 作成可能なユーザー権限：ドメイン管理者、サイト管理者、一般ユーザー作成可

※2. 作成可能なユーザー権限：サイト管理者、一般ユーザー

※3. インスタンス作成時に許可された場合のみ利用可能

ダッシュボード・マイアカウント

ダッシュボード

ダッシュボードにはサーバーの利用状況についての概要、アラート通知などが表示されます。

ログインしているユーザーのアカウント権限により、表示が異なりますのでご注意ください。

■ 契約者アカウントでログインした場合



① ディスク使用状況	Web およびメールそれぞれのディスク使用量が表示されています。
② データベース使用状況	各データベースのインスタンス名、データベース名、使用量などが表示されています。 ※オプションのお申し込み有無やデータベース作成状況により表示は異なります。
③ Web 情報	ドキュメントルート(絶対パス)や Web サーバーの IP アドレスなどの情報が表示されています。
④ アプリケーション	各アプリケーションの設定画面へのリンクが表示されています。 ※オプションのお申し込み有無により表示は異なります。

マイアカウント

✓ 既存パスワードの表示に関して

既存の設定済みパスワードの表示は、2024 年 5 月 21 日 15 時をもってセキュリティ強化のため非表示となりました。

既存のパスワードがご不明な場合は[パスワード変更](#)を行ってください。

ログインしているユーザーの Web、FTP、メール等の情報の確認が行えます。

※表示するアカウント権限・設定内容により、表示が異なります。

マイアカウント

基本情報

ユーザー名	domainadmin
パスワード	編集
コメント	
ユーザー権限	ドメイン管理者

ユーザー切り替え中

OWNER0000

契約者

元のユーザーに戻す

メール情報

メールアドレス	domainadmin@example.com	
メールアカウント	domainadmin@example.com	
メールパスワード	お客様のログインパスワード	
POPサーバー	通常の場合 pop.example.com	
ポート番号:110, 995(SSL/TLS)	接続時に証明書エラーが発生する場合 mail.	
	DNS設定前の場合	
IMAPサーバー	通常の場合 imap.example.com	
ポート番号:143, 993(SSL/TLS)	接続時に証明書エラーが発生する場合 imap.	
	DNS設定前の場合	
SMTPサーバー	通常の場合 smtp.example.com	
ポート番号:587, 465(SSL/TLS)	接続時に証明書エラーが発生する場合 mail.	
	DNS設定前の場合	
WebメールのURL (Roundcube)	https://roundcube.	
メールボックス使用量	0.0MB	
未受信数 / 受信済み数	0 / 0	受信済みメール削除
海外SMTP認証制限	国内のみ	解除
メール設定	フィルター	自動返信

FTP情報

ユーザー権限	ドメイン管理者
FTPアカウント	domainadmin@example.com
FTPパスワード	お客様のログインパスワード
FTPサーバー	通常の場合 ftp.example.com
	DNS設定前の場合

パスワード変更

パスワードに使用できる文字列

A-Z、a-z、0-9、!#\$%&()-~^_[]*.;:~?|@
6 文字以上最大 32 文字で設定してください。

■ドメイン管理者・サイト管理者でログインした場合

ドメイン管理者/サイト管理者の権限のユーザーの ID で Control Panel にログイン後、マイアカウント情報の「**詳細を見る**」をクリック、または右上のユーザー名のプルダウンから「**マイアカウント**」をクリックし、マイアカウント画面のパスワード欄の **編集** をクリックします。



■一般ユーザーでログインした場合

各ユーザーの ID で Control Panel にログイン後、パスワード欄横の **編集** をクリックします。

■契約者またはドメイン管理者がユーザーのパスワードを変更する場合

左メニューの**ユーザー**から、対象ユーザー横の**編集**をクリックします。



変更後のパスワードを入力し、**保存**をクリックします。

ユーザー編集 ?

ユーザー名

guide

パスワード変更

パスワード設定済み

パスワード自動生成

ユーザー権限 必須

サイト管理者

[サイト管理者] ドキュメントルートにFTPアクセスできます。

メール・FTP 必須

アカウント名: guide@example.com

☐ メールのみ利用

☐ FTPのみ利用

www.example.com

☒ メール・FTP利用

www.example.com

☒ 海外からのSMTP認証を制限する

コメント

入力できる文字数は半角64文字（全角24文字）です。

キャンセル

保存

ユーザー削除

☐ このユーザーを削除する

10

受信済みメール削除

ユーザーがメールソフトを使ってサーバーから受信した「**受信済みメール**」を、**サーバーのメールボックスからすべて削除する機能**です。
 ※契約者アカウントやドメイン管理者で Control Panel にログインして、各ユーザーの受信済みメールをまとめて削除する場合は、メールボックス使用量確認をご確認ください。

■削除前の注意事項

✓ 「IMAP」アカウントで受信（読み込み）をされている場合

未受信（未読）以外のメールはすべて削除され、メールソフトで受信（サーバーのメールデータを読み込み）しているメールも削除されます。そのため、**残しておきたいメールがある場合、POP 接続にてメールソフトで受信をしてから削除を行ってください。**
 ご利用のメールソフトによっては、POP アカウントから IMAP アカウントへの切り替えができないため、新たに POP 用のアカウントをメールソフトに設定することで POP 受信が行えます。

✓ 「POP」アカウントで受信（端末へダウンロード）をされている場合

メールソフトの設定で「サーバーにメッセージのコピーを残す」設定にしている場合のみ、サーバーに受信済みメールが残っています。メールソフト（使用端末）に、受信したメールがデータとして保存されているため、サーバー内の受信済みメールを削除しても、メールソフト上でメールの確認ができます。

※複数の端末で POP アカウントでのメール受信を行われている場合は、あらかじめ、最新のメールデータを各端末で POP 受信しておくことをお勧めいたします。

受信済みメール削除 が、薄いグレーの表示になっている場合は、受信済みメールはありません。

■ドメイン管理者およびサイト管理者でログインした場合

ドメイン管理者/サイト管理者の権限のユーザーの ID で Control Panel にログイン後、マイアカウント情報の「詳細を見る」をクリック、または右上のユーザー名のプルダウンから「マイアカウント」をクリックし、**受信済みメール削除** をクリックします。



■一般ユーザーでログインした場合

各ユーザーの ID で Control Panel にログイン後、「未受信数/受信済数」欄右横の **受信済メール削除** をクリックします。

マイアカウント ?

基本情報

ユーザー名	user
パスワード	編集
コメント	
ユーザー権限	一般ユーザー

メール情報

メールボックス使用量	1.3MB
未受信数 / 受信済数	123 / 250 受信済メール削除
海外SMTP認証制限	国内のみ 解除
メール設定	フィルター 自動返信

メールフィルター設定（転送設定や迷惑メール対策）

■ドメイン管理者およびサイト管理者でログインした場合

各ユーザーの ID で Control Panel にログイン後、「マイアカウント情報」の「詳細を見る」をクリック、または右上のユーザー名のプルダウンから「マイアカウント」をクリックして、**フィルター**をクリックします。



■一般ユーザーでログインした場合

各ユーザーの ID で Control Panel にログイン後、ページ下部の**フィルター**をクリックします。



■迷惑メールフィルター登録

「迷惑メールリスト」の欄にメールアドレスを入力し、「自動削除する」または「エラーメールを返す」のいずれかにチェックを入れ、**保存**をクリックします。

※「迷惑メールフィルター確認」の欄は、サーバーの管理者側で一括登録したメールアドレスが表示されており、登録されていない場合は空欄となっております。

① 対象メールアドレス	設定対象のメールアドレスが表示されています。
② 迷惑メールフィルター確認	サーバー管理者が一括登録したメールアドレスが表示されています。
③ 迷惑メールリスト	拒否したい送信元（Return-Path）のドメイン名、または、メールアドレスを 1 行ずつ入力してください。 【設定例】 ➤ who@example.org "who@example.org" から送信されるすべてのメールを受信拒否します。 ➤ .org ".org" から送信されるすべてのメールを受信拒否します。 ➤ example.org "example.org" から送信されるすべてのメールを受信拒否します。

■メールフィルター登録

メールフィルター設定の右側の **新規追加** をクリックします。



メールフィルター名、条件、動作を入力の上、 **保存** をクリックします。

メールフィルターの入力項目		
① メールフィルター名		メールフィルターの名称を記入します。 ※メールフィルターを管理する上での便宜上のもので、設定には反映されません。
② 条件	すべてのメール	受信したすべてのメールにこのメールフィルターを適用します。 [すべてのメール]を選択した場合、適用順序がこのメールフィルターより後のメールフィルターは適用されません。
	メールのサイズが	受信したメールのうち、メールのサイズが設定されたサイズ以上、または以下のものに、このメールフィルターを適用します。 サイズは KB で指定し、[以上]、[以下]のいずれかを選択してください。
	メールヘッダーが	受信したメールのヘッダーと設定された文字列の比較結果に従ってこのメールフィルターを適用します。 対象のメールのヘッダーを選択します。 目的のヘッダーがない場合、「その他」を選択し、カッコ内のテキストエリアに [X-Mailer:] 等のように入力してください。 2 行目のテキストボックスには、ヘッダーの文字列の中で一致させる文字列を [ABC Mailer] のように入力します。 ※日本語も入力できます。入力した文字列がメールヘッダーのどこに一致するかを、2 行目のリストから選択してください。 フィルターで「Received:」を指定した場合、判定対象となるのは最新（最上部）の「Received:」1 行のみです。
③ 動作	自動削除する	条件に一致したメールを自動的に削除する場合に選択します。 受信したメールをサーバーへ保存せず、破棄します。
	エラーメールを返す	条件に一致したメールの送信者にエラーメールを返信する場合に選択します。 受信したメールの送信者へエラーメールを送信し、受信したメールはサーバーに保存されません。
	メールを転送する	条件に一致したメールを指定されたメールアドレスへ転送します。 転送先メールアドレスは 1 件以上入力してください。 転送時にメールをサーバーに残しておきたい場合は、メールをメールボックスに残すにチェックしてください。

■ メールフィルターの順序

各メールフィルターの適応には順序があり、以下の順序で有効となります。

そのため、エンドユーザー側でフィルター設定をしていても、上位のメールフィルターで、条件に該当したメールフィルターがあった時点で、下位のメールフィルターは適用されません。

順位	設定可能ユーザー	フィルター種別
①	契約者 ドメイン管理者	一括迷惑メールフィルター
②	全ユーザー※	個別の迷惑メールフィルター
③	全ユーザー※	動作が"自動削除する"、"エラーメールを返す"のメールフィルター
④	全ユーザー※	メール自動返信
⑤	全ユーザー※	動作が"転送する"のメールフィルター

※1. サイト管理者、一般ユーザーは、他ユーザーの設定は編集できません。

※2. フィルターの順序により、メール転送設定をしていても、それより上位に該当するフィルターが機能した場合は、メールが転送されなくなります。設定している機能が動作しない場合は、上位のフィルター設定が先に機能している可能性がございますのでご確認ください。

メール自動返信設定

メール自動返信の設定をしておくと、メールを受け取った際に送信者に自動的にあらかじめ設定しておいたメールの内容を返信することができます。

■ドメイン管理者およびサイト管理者でログインした場合

各ユーザーの ID で Control Panel にログイン後、「マイアカウント情報」の「詳細を見る」をクリック、または右上のユーザー名のプルダウンから「マイアカウント」をクリックして、**自動返信**をクリックします。



■一般ユーザーでログインした場合

各ユーザーの ID で Control Panel にログイン後、ページ下部の**自動返信**をクリックします。



■フィルターの設定内容

「自動返信メールの利用」を「利用する」に変更し、各項目を入力の上 **保存** をクリックして設定完了となります。

※自動返信メールを停止する場合には、「自動返信メールの利用」を「停止中」に変更してください。

メール自動返信設定 ?

自動返信メールの利用 ① 停止中 ☐ 利用中 ☒

メールアドレス ② user@example.com

Subject ③

From 必須 ④ user@example.com

Reply-To ⑤

本文 ⑥

キャンセル 保存

① 自動返信メールの利用	「利用中」にすると、自動返信メール機能が有効になります。
② メールアドレス	自動返信メールを設定するメールアドレスが表示されています。
③ Subject	自動返信メールのメールタイトルに対応します。英語、日本語共に使用できます。
④ From	自動返信メールの差出人メールアドレスです。 初期値は対象のメールアドレスが入力されています。
⑤ Reply-To	自動返信メールの返信用アドレスとなり、通常は空欄のままにしておきます。 この設定は、自動返信メールを受け取った受信者がさらに返信をする際に、「From:」で指定されたメールアドレスとは異なるメールアドレスに返信させる場合に入力します。 なお、書式は「From:」と同様になります。
⑥ 本文	返信するメールの本文を入力します。 本文の最大サイズは 10KB です。

ウェブメール

旧 Control Panel と同じく、『Roundcube』を Web メールとして利用できます。

■ドメイン管理者でログインした場合

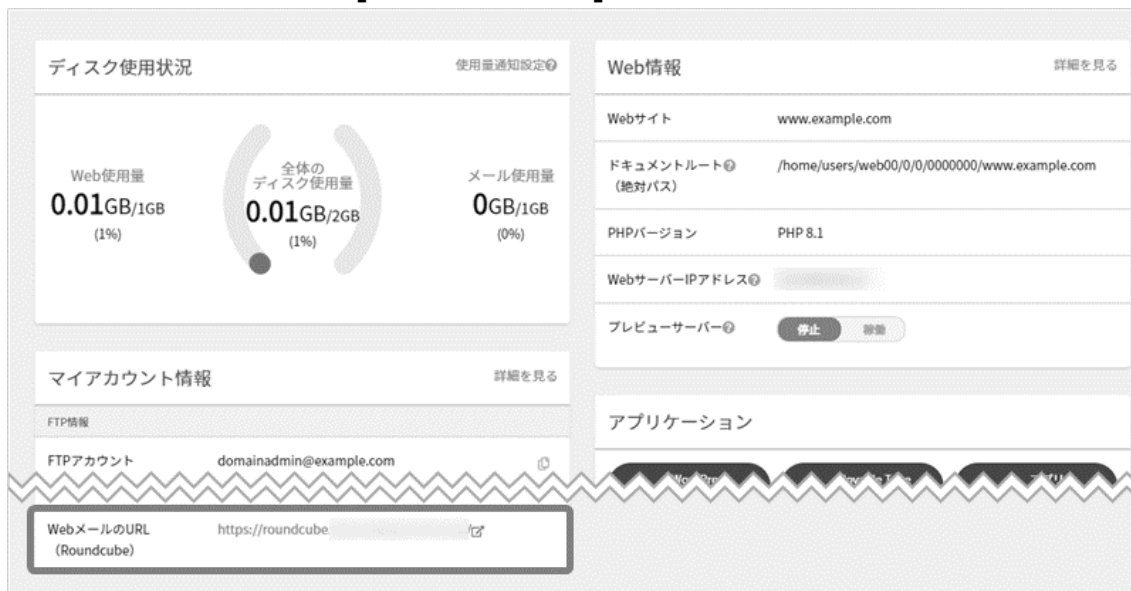
Control Panel にログインし、以下のどちらかの手順で Webメールのログイン画面が立ち上がります。

1. 左メニュー「メール」から、「Web メール」をクリックする。



契約者権限のアカウントでは、左メニューに「Web メール」が表示され、Webメールのログイン URL を開くことはできますが、メールアカウントの機能を有していないため、ログインすることはできませんので、あらかじめご了承ください。

2. ダッシュボード マイアカウント情報 [Webメールの URL]の URL 部分をクリック



■サイト管理者でログインした場合

ダッシュボード マイアカウント情報 [Webメールの URL]の URL 部分をクリックして Webメールを開くことができます。

■一般ユーザーでログインした場合

マイアカウント「メール情報」の [Webメールの URL]の URL 部分をクリックして Webメールを開くことができます。

Web メールログイン画面が表示されますので、情報を入力して **ログイン** をクリックします。

The image shows the Roundcube Webmail login interface. At the top center is a logo consisting of a sphere on a hexagonal base. Below the logo are two input fields: the first is labeled 'メールアドレス' (Email Address) and the second is labeled 'パスワード' (Password). Below these fields is a large button labeled 'ログイン' (Login). At the bottom of the interface, the text 'Roundcube Webmail' is displayed.

メールアドレス

パスワード

ログイン

Roundcube Webmail

メールアドレス	コントロールパネルで作成された ユーザー名@ドメイン名 の形式のメールアドレス
パスワード	各ユーザーに割り当てられたパスワード

ユーザー

ユーザー

「ユーザー」では、メールアカウントおよび FTP アカウントとなるユーザーの作成が行えます。



① 新規追加	メールアカウントおよび FTP アカウントの作成画面に進みます。
② CSV 管理	既存ユーザーの CSV エクスポートを行います。
③ ユーザー名	登録されているユーザー名が表示されています。
④ コメント	ユーザーに対してコメントを入れている場合に表示されます。
⑤ ユーザー権限	ドメイン管理者、サイト管理者、一般ユーザーなどユーザーに割り当てられている権限です。
⑥ メール・FTP	アイコンが表示されている場合はメールおよび FTP の利用権限があります。
⑦ ユーザー切り替え	ユーザーID でログインした場合の画面に推移します。
⑧ 編集	パスワードの変更やアカウントの権限の変更、アカウントの削除が行えます。

ユーザー新規追加

左メニューの「ユーザー」から **ユーザー新規追加** または **新規追加** をクリックし、新規登録を行います。



各項目を入力し、**保存** をクリックします。



ユーザー登録の各設定項目		
① ユーザー名	Control Panel へログインするユーザー名になります。 ➤ メールアドレスを作成する場合：メールアドレスはユーザー名@ドメイン名となります。 ➤ FTP アカウントを作成する場合：FTP アカウント名はユーザー名@ドメイン名となります。 ✓ 使用可能な文字:a-z、0-9、ドット (.)、ハイフン (-)、アンダーバー (_) ※ただし、先頭は a-z、0-9 のみ使用できます。 ✓ 使用可能な文字数：6 文字～32 文字 ✓ ※メーリングリスト、ヴァーチャルメールで設定しているメールアドレスと同一ユーザー名は登録できません。	
② パスワード	作成するユーザーのログインパスワードを設定します。 ✓ 使用可能な文字:英数字 (A-Z、a-z、0-9) 記号 (!#\$%&()-~^_[]*,:;.?!@) ✓ 使用可能な文字数：6 文字～32 文字 ※ セキュリティ保持のため、パスワードには必ず大文字、小文字、数字を混在させてください。 ※ メールや FTP などのパスワードが必要なサービスにも、このログインパスワードを使用します。 ※ [パスワード自動生成]をクリックすると、8 文字のランダムなパスワードが自動生成されます。	
③ ユーザー権限	一般ユーザー	メールアドレスのみ必要なユーザーは、こちらの権限を設定してください。 「所属するウェブサイト」で対象ドメイン名を選択すると、ウェブ領域にユーザー専用のディレクトリが作成され、そのディレクトリに対してのみ FTP でアクセスすることができます。
	サイト管理者	サイトの管理権限を付与するユーザーは、こちらの権限を設定してください。 「管理するウェブサイト」で対象サイトを選択すると、サイトのドキュメントルートに対して FTP でアクセスすることができます。 FTP アクセス権限を付与しつつ、メールアドレスを利用しない設定も可能です。
	ドメイン管理者	ドメイン名内の全領域に対して FTP でアクセスすることができます。 またサイト管理者および一般ユーザーを作成することができます。
④ メール・FTP	メールのみ利用	メールアドレスとしての利用のみで FTP 接続を行わないアカウントです。 「海外からの SMTP 認証を制限する」にチェックを入れると、国内からの SMTP 認証接続のみに制限ができます。
	FTP のみ利用	FTP 接続のみ行い、メールアドレスとしての利用はしないアカウントです。
	メール・FTP 利用	メールアドレスとしての利用および FTP 接続を行うアカウントです。 「海外からの SMTP 認証を制限する」にチェックを入れると、国内からの SMTP 認証接続のみに制限ができます。
⑤ コメント	作成するユーザーに対してコメントを付けられます。(省略可能) 使用可能な文字数：半角 64 文字 (全角 32 文字) まで ※ ユーザーの管理をする際に分かりやすいよう氏名・所属・利用目的等の入力をおすすめします。	
⑥ [+]さらに追加	複数のアカウントを作成する場合、[さらに追加]をクリックすると追加分の入力画面が表示されます。	

ユーザーCSV 管理

カンマ区切りの CSV ファイルをアップロードしてユーザーを一括登録したり、登録されているユーザーを CSV 形式で出力したりすることができます。CSV 一括登録や、テキスト一括登録で登録されたユーザーは、既に登録済みのユーザーに追加されます。

- CSV 一括登録
- テキスト一括登録
- ユーザー情報バックアップ/CSV ダウンロード

■CSV データの書式

メモ帳などのテキストエディタや、表計算ソフトなどで以下の順にカンマ区切り(CSV)形式のファイルを作成します。

ユーザー,コメント,パスワード,メール,権限,対象サイト

✓ 既存パスワードの表示に関して

既存の設定済みパスワードの表示は、2024 年 5 月 21 日 15 時をもってセキュリティ強化のため非表示となりました。
なお、CSV での既存パスワード表示は今後非表示となる予定です。適宜出力、保存をお願いします。

ユーザー	ユーザー名
コメント	ユーザーについてのコメント ※省略可
パスワード	ユーザーのパスワード ※使用できる文字列：A-Z、a-z、0-9、!#\$%&()-~^_[]*,:; .?!@
メール	ユーザーがメールを作成するか ➤ 作成する：1 ➤ 作成しない：0
権限	ユーザーの権限 ➤ ドメイン管理者：2 ➤ サイト管理者：1 ➤ 一般ユーザー：0 ※ドメイン管理者やサイト管理者は登録可能な数に限りがありますのでご注意ください。
対象サイト	管理、または所属するサイトです。 ※権限が 1（サイト管理者） または 0（一般ユーザー） の場合のみ有効

■CSV 一括登録

左メニューの「ユーザー」を開き、画面右側の **CSV 管理** に進みます。



「CSV アップロード」枠内の **ファイル選択** をクリックし、お客さまの PC 内のユーザー登録用の CSV ファイルを選択します。



ユーザー登録が完了したかを確認するには、あらためて「ユーザー」から「CSV 管理」を選択してください。

登録が完了していない場合は、**再表示** をクリックして進捗を確認できます。登録が完了した場合は、**OK** をクリックしてユーザー一覧の画面をご確認ください。



■テキスト一括登録

左メニューの「ユーザー」を開き、画面右側の **CSV 管理** に進みます。



「テキスト一括登録」枠内のフォームに必要な情報をカンマ区切りで入力し **登録** をクリックします。

テキスト一括登録

CSV形式で記入し、ユーザーを一括登録します。
登録したデータは、既に登録済みのユーザーに追加されます。

例：yamada,山田,Yamada123,1,0

登録

ユーザー登録が完了したかを確認するには、あらためて「ユーザー」から「CSV 管理」を選択してください。

登録が完了していない場合は、**再表示** をクリックして進捗を確認できます。登録が完了した場合は、**OK** をクリックしてユーザー一覧の画面をご確認ください。



■ユーザー情報バックアップ/CSV ダウンロード

左メニューの「ユーザー」を開き、画面右側の **CSV 管理** に進みます。



画面を下部までスクロールし、「ユーザー情報バックアップ」に表示される **CSV ダウンロード** をクリックします。

※出力されるデータは、ログインしているユーザーより下位権限のユーザーデータのみです。

※ドメイン管理者の情報をダウンロードしたい場合は、契約者アカウントでログインしてご利用ください。



ユーザー編集

契約者・ドメイン管理者の権限で Control Panel にログインし、作成されたユーザーの各設定を確認・編集できます。

※ユーザー名の修正は行えませんので、あらかじめご了承ください。

左メニューの「ユーザー」をクリックし、ユーザー一覧の中から編集したいユーザー名の右側の **編集** をクリックします。



変更が完了したら、**保存** をクリックすると編集が反映されます。

ユーザー編集 ?

① ユーザー名

guide

② パスワード変更

パスワード設定済み

パスワード自動生成

③ ユーザー権限 必須

サイト管理者

[サイト管理者] ドキュメントルートにFTPアクセスできます。

④ メール・FTP 必須

アカウント名: guide@example.com

メールのみ利用

FTPのみ利用

メール・FTP利用

example.com

example.com

海外からのSMTP認証を制限する

⑤ コメント

入力できる文字数は半角64文字（全角24文字）です。

キャンセル

保存

ユーザー削除

⑥

このユーザーを削除する

削除

29

ユーザー削除

契約者およびドメイン管理者の権限で登録されているユーザーを削除することができます。

■ユーザー削除前の注意事項

ユーザーを削除すると、そのユーザーのメールアドレスやサーバー上のメールがすべて削除されます。

また、一般ユーザー権限のユーザーで、「所属するウェブサイト」や「ウェブサイトを使用する」設定にしているユーザーを削除した場合、ユーザーのホームディレクトリ以下がすべて削除されますのでご注意ください。

左メニュー「ユーザー」に進み、削除するユーザーの左側にチェックを入れ、**削除**をクリックします。



確認画面で**削除**をクリックすると、チェックしたユーザーが削除されます。



ユーザー切り替え

契約者およびドメイン管理者の権限で登録されているユーザーを削除することができます。

- ※ サイト管理者・一般ユーザーで Control Panel にログインしている場合、ユーザー切り替えの機能は利用できません。
- ※ 「各種アプリケーション」や、「アプリインストーラー、標準 CGI、アプリ・CGI 管理」など、ユーザー切り替えで利用できない機能があります。

左メニュー「ユーザー」から、切り替えたいユーザー右側の**切替**をクリックすると、選択したユーザーでログインしたときと同様の TOP 画面に切り替わります。



切り替え前の画面に戻る場合には、画面下の**元のユーザーに戻す**をクリックしてください。



メール

契約者、ドメイン管理者のアカウントでログインすると、メール画面で以下のような設定や作業を行えます。

- メールアドレスの新規追加（ユーザー新規追加）
- メールアドレスの一覧の確認
- サーバー内での全メールボックスの合計容量の確認
- 各メールユーザーのメールの受信数、未受信数の確認
- 各メールユーザーの個別でのメール利用容量の確認
- 各メールユーザーの受信済みメールの一括削除（未受信メールは削除対象外）
- 各メールユーザーへのメールフィルター画面への移動と設定
- 各メールユーザーへの自動返信画面への移動と設定

メール／メール使用量

Control Panel にログインし、左メニューの「メール」をクリックすると、メールに関する各種情報の一覧が表示されます。

ダッシュボード / メール

メール

① メールアドレス ② メールリスト ③ ヴァーチャルメールアドレス

メールアドレス ④ メールアドレス数: 3件/無制限 ④ 新規追加

⑤ メール使用量 ⑥ -MB / 1000MB (-%) ⑥ 使用量通知設定 更新

例) メールアドレス, コメント 検索 20件表示 ▼

⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
メールアドレス	コメント	未受信 / 受信済	使用状況	受信済メール削除	海外SMTP認証制限			
☐ domainadmin@example.com		0 / 0	0.0 MB	削除	国内のみ	設定	設定中	フィルター
☐ webadmin@example.com		0 / 0	0.0 MB	削除	国内のみ	設定	未設定	フィルター
☐ user@example.com		0 / 0	0.0 MB	削除	国内のみ	設定	未設定	フィルター

⑭ 自動返信 ⑮ 自動返信

⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮

⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮

メール機能一覧	
①メールアドレス	メールアドレスの一覧および新規作成等が行える TOP 画面です
②メーリングリスト	メーリングリストに関する操作はこちらをクリックします。
③ヴァーチャルメールアドレス	ヴァーチャルメールアドレスに関する操作はこちらをクリックします。
④新規作成	メールアドレスの新規作成（ユーザー新規追加）の画面に進みます。
⑤メール使用量	ご契約内で利用できるメールの最大容量と現在の使用量が表示されます。
⑥使用量通知設定	一定の使用量の超過した場合に通知する宛先を設定できます。
⑦更新	更新 を押下すると使用量の情報が更新されます。（1 時間ごと）
⑧メールアドレス	メールを利用しているユーザー名が表示されます。
⑨コメント	ユーザーのコメントが表示されます。
⑩未受信/受信済	サーバーに保存されている未受信、受信済みのメール件数が表示されます。 ➤ 未受信：メールソフトで受信していないメール件数 ➤ 受信済：メールソフトで受信済みで、かつ、サーバーに残っているメール件数 ※リアルタイムでの表示ではなく受信操作時のキャッシュを表示しております。
⑪使用状況	サーバーに保存されているメールの総容量が表示されます。 ※リアルタイムでの表示ではないため、反映されるまで多少お時間を要します。 ※総容量の取得に一定以上時間が掛かる場合、0MB の表示となってしまいます。
⑫受信済メール削除	サーバーに保存されている受信済みのメールをすべて削除することができます。 削除 をクリックし、確認画面で 削除 をクリックすると受信済メールがすべて削除されます。 受信済メールの削除を実行できるのは、ログインユーザーの権限よりも下位の権限のユーザーに対してのみです。 ※IMAP をご利用の場合、未受信（未読）以外のメールがすべて削除されてしまうため、受信済みで残しておきたいメールがある場合には、POP 接続にてメールソフトで受信してから削除を行ってください。
⑬海外 SMTP 認証制限	対象ユーザーのメールアドレスに対し、日本国外からの SMTP 接続を制限する機能です。 設定 をクリックして「国内のみ/制限なし」の切り替えが可能です。
⑭フィルター	対象ユーザーのメールフィルターを設定できます。
⑮自動返信	対象ユーザーの自動返信を設定できます。

■使用量通知設定

全体のメール使用量が、一定の使用量を超過した場合に指定されたメールアドレス宛てに通知できます。

※ 使用量が逼迫すると、メール送受信エラーなどが発生する可能性があります。
サーバーに受信したメールは POP アカウントなどでメールデータをご利用の端末にダウンロード（保存）し、一定期間経過後にサーバーから削除する設定などをご利用ください。

メール使用量の右に表示される **使用量通知設定** をクリックすると、通知設定の画面が開きます。

メール・Web の警告を通知する使用量をプルダウンから選択し、送信先を入力して **保存** をクリックします。

通知先のメールアドレスは、3 つまで指定できます。

The screenshot shows the 'メール' (Mail) settings page. At the top, there are tabs for 'メールアドレス' (Mail Address), 'メーリングリスト' (Mailing List), and 'ヴァーチャルメールアドレス' (Virtual Mail Address). Below the tabs, there's a section for 'メールアドレス ?' with a '新規追加' (Add New) button. A 'メール使用量' (Mail Usage) bar is shown with a '-MB / 1000MB (-%)' label and a '更新' (Update) button. A large arrow points from the '使用量通知設定' (Usage Notification Settings) button on the usage bar to the modal window below.

The '使用量通知設定' (Usage Notification Settings) modal window contains the following fields:

- 警告値(メール)** (Warning Value (Mail)): A dropdown menu currently set to '通知しない' (Do not notify).
- 警告値(Web)** (Warning Value (Web)): A dropdown menu currently set to '通知しない' (Do not notify).
- 送信先1** (Destination 1): A text input field.
- 送信先2** (Destination 2): A text input field.
- 送信先3** (Destination 3): A text input field.

At the bottom of the modal, there are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and '保存' (Save). A callout box on the right side of the modal lists the available warning values for the dropdown menus:

- 通知しない (Do not notify)
- 使用量が 50% を超えたら通知 (Notify when usage exceeds 50%)
- 使用量が 60% を超えたら通知 (Notify when usage exceeds 60%)
- 使用量が 70% を超えたら通知 (Notify when usage exceeds 70%)
- 使用量が 80% を超えたら通知 (Notify when usage exceeds 80%)
- 使用量が 90% を超えたら通知 (Notify when usage exceeds 90%)

ヴァーチャルメールアドレス

ヴァーチャルメールアドレスとは、お客様のドメインのメールアドレスに着信したメールを、メールボックスに入れずに他のメールアドレスに中継する機能です。

左メニューの「メール」に進み、上部タブの「ヴァーチャルメールアドレス」をクリックします。



①新規追加	ヴァーチャルメールアドレスの新規登録画面へ遷移します。
②削除	チェックを入れて 削除 をクリックすると削除できます。
③ヴァーチャルメールアドレス	登録されているヴァーチャルメールアドレスが表示されます。
④コメント	登録されているヴァーチャルメールアドレスのコメントが表示されます。
⑤編集	登録情報の変更画面へ遷移します。

■ヴァーチャルメールアドレスの新規登録

左側メニューの「メール」から上部タブの「ヴァーチャルメールアドレス」に進み、**新規作成** をクリックします。



必要項目を入力して **保存** をクリックして登録完了です。

ダッシュボード / メール / ヴァーチャルメールアドレス新規追加

ヴァーチャルメールアドレス登録 ?

① ヴァーチャルメールアドレス 必須

virtualmail @example.com

② コメント

入力できる文字数は半角64文字（全角32文字）です。

③ 転送先メールアドレス 必須

forward@example.co.jp

さらに追加

キャンセル

保存

① ヴァーチャルメールアドレス	ヴァーチャルメールアドレスのアカウントを入力します。 ※ユーザーに登録されているユーザー名は使用できません。
② コメント	ヴァーチャルメールアドレスに対するコメントを入力できます。※省略可
③ 転送先メールアドレス	転送先メールアドレスに登録できる件数はプランにより異なります。

■ ヴァーチャルメールアドレスの削除

左メニューの「メール」から上部タブの「ヴァーチャルメールアドレス」に進み、対象のヴァーチャルメールアドレスにチェックを入れると **削除** をクリックできるようになります。確認画面が表示されますのでヴァーチャルメールアドレスを確認して **削除** をクリックして削除完了です。

メールアドレス メーリングリスト ヴァーチャルメールアドレス

ヴァーチャルメールアドレス ?

削除

↑

☒

virtualmail@example.com

▼

コメント

メーリングリスト

■メーリングリストの新規登録

「メール」の「メーリングリスト」に進み、**新規追加**をクリックします。



➤ 基本設定

登録画面に必要事項を記入し、**保存**をクリックします。

ダッシュボード / メール / メーリングリスト新規追加

メーリングリスト登録 ?

基本設定

- ① メーリングリスト名 必須
- ② メーリングリストアドレス 必須 @example.com
- ③ 管理用アドレスの転送先 必須 @example.com
お客さまドメイン内の実在するメールアドレスを指定します。
- ④ インフォメーションの言語
- ⑤ コマンド送信できるユーザー
[モデレーターのみ] 拡張設定でモデレーターを設定してください
- ⑥ 投稿できるユーザー
[モデレーターのみ] 拡張設定でモデレーターを設定してください
- ⑦ 受信可能サイズ 必須 KB以下
- ⑧ その他設定
 - ☐ Subjectに連し番号をつける
 - ☐ コマンドを受信拒否した場合にエラーを返す
 - ☐ 投稿を受信拒否した場合にエラーを返す

※ 自動的にメーリングリストのアドレスが返信先（Reply-To）となり、返信先に任意のアドレス指定はできません。

①メーリングリスト名	メーリングリストの名称を入力します。※日本語入力可
②メーリングメールアドレス	メーリングリストのメールアドレスを登録します。 ✓ 使用可能な文字: a-z、0-9、ドット (.)、ハイフン (-)、アンダーバー (_) ※ただし、先頭は a-z、0-9 のみ使用できます。 ✓ 使用可能な文字数: 最大 32 文字
③管理用アドレスの転送先	管理用メールアドレスに送られたメールを転送するメールアドレスです。 お客さまドメイン内の実メールアドレスを指定してください。 ※ヴァーチャルメールアドレスや、ほかのメーリングリストのアドレスは使用できません。
④インフォメーションの言語	メーリングリスト参加・コマンドを送信した際に送られてくる案内メールの言語が表示されます。
⑤コマンド送信できるユーザー	メーリングリストに対して、コマンドを送信できるユーザーを選択します。 ➤ 誰でも: 誰でも任意に ML 参加のコマンドなどを送信できます。 ➤ モデレーターのみ: 管理者の承認なしには参加できないようにします。 【メーリングリストで利用可能なコマンド】 「メール」から「メーリングリスト」に進み、対象メーリングリスト右側の編集をクリックし、拡張設定「help (ML のヘルプ)」の枠内のテキスト「3.1 情報の取り寄せ・基本的なコマンド」の箇所からご確認いただけます。
⑥投稿できるユーザー	メーリングリストに対して、メール（記事）の投稿ができるユーザーを選択します。 通常は「メンバーのみ」に設定し、メーリングリストのメンバーだけが投稿できるようにします。 メンバー全体に対してダイレクトメール配信を目的にする場合には、「モデレーターのみ」に設定し、勝手に投稿されないようにします。
⑦受信可能サイズ	メーリングリストに投稿可能なメールのサイズを KB 単位で設定します。 通常のテキストメール程度であれば、50～100 KB 程度で十分です。 最大で 10,000KB まで受信可能です。
⑧その他設定	➤ Subject:に通し番号を付ける このオプションを有効にすると、投稿メールの表題に自動的に番号が入ります。例えば、メーリングリストアドレスが abc@お客さまドメイン名だった場合には、[abc 1] テストのようになります。 ➤ コマンドを受信拒否した場合にエラーを返す このオプションを有効にすると、コマンド送信を許可されていないユーザーからのコマンドを拒否し、送信者にエラーをメールで返します。オプションを無効にしている場合には、エラーは管理者のみに送信されます。 ➤ 投稿を受信拒否した場合にエラーを返す このオプションを有効にすると、投稿を許可されていないユーザーからの投稿を拒否し、送信者にエラーをメールで返します。オプションを無効にしている場合には、エラーは管理者のみに送信されます。

➤ メンバー登録

メーリングリストのメンバーを下記のいずれか方法で登録できます。

- CSV一括登録：CSV ファイルのアップロード形式（メールアドレスをカンマ区切りで記載）
- テキスト一括登録：枠内にメールアドレスを記入形式（メールアドレスを 1 行ずつ記載）

なお、メーリングリストに参加したメンバーへ、メーリングリストの welcome メールを送信する場合は、「welcome メール」の箇所にある「新規メンバーに welcome メールを送信する」にチェックをいれてください。

➤ 拡張設定

基本設定の「コマンド送信できるユーザー」「投稿できるユーザー」でモデレーターを選択した場合、モデレーターのメールアドレスを登録します。すべての入力が完了したら **保存** をクリックして登録完了です。

①モデレーターの設定	メーリングリストの基本設定で、「コマンド送信できるユーザー」「投稿できるユーザー」に「モデレーターのみ」を選択した場合に設定します。 送信されたコマンドおよび投稿されたメールはモデレーターへ送信され、モデレーターが承認した場合のみ処理されます。
②通し番号	メーリングリストの基本設定で、「Subject に通し番号を付ける」設定をしている場合に有効です。 メーリングリストにメールが投稿される度に 1 が加算されていきます。この数値を任意に編集することが可能です。

③ メッセージの編集

confirm (登録確認)
*** Confirmation (登録の確認) ***

deny (投稿拒否)
あなたはこのメーリングリスト <%ML_ACCOUNT%@example.com> のメンバーではありません。

guide (MLのガイド)
メーリングリストの一般向けガイド(参加者及び非参加者向け)

help (MLのヘルプ)
%ML_ACCOUNT%@example.com メーリングリストの使い方について

objective (MLの目的)
このメーリングリスト <%ML_ACCOUNT%@example.com> の目的は … です。

welcome (登録時の挨拶)
<%ML_ACCOUNT%@example.com> メーリングリストへようこそ!

キャンセル 保存

③メッセージの編集	confirm(登録確認)	ユーザーが参加を希望する場合に、本当に参加するのかどうかを確認するためのメッセージです。 fml では、セキュリティの都合上、一度 subscribe コマンドを送信しても、即座にはメンバーになりません。 再度ユーザーの参加意志を確認します。
	deny (投稿拒否)	ユーザーが、メーリングリストのメンバーでなく、コマンドや投稿が拒否された場合に返すエラーの文章を記述します。
	guide (ML のガイド)	メーリングリストの簡単な案内を記述します。
	help (ML のヘルプ)	メーリングリストのコマンドリファレンス等のヘルプを記述します。 通常はデフォルトのまま使用します。
	objective (ML の目的)	メーリングリストの話題の中心になる、メーリングリストの目的を記述します。
	welcome (登録時の挨拶)	ユーザーがメーリングリストに参加した際に送信される歓迎の文章を記述します。

■メーリングリスト一覧

左メニュー「メール」から、「メーリングリスト」のタブを開くと、登録しているメーリングリストの一覧が表示されます。



①削除	削除するメーリングリストにチェックを入れると 削除 ボタンが表示されます。
②メーリングリスト名	登録されているメーリングリストの名前が表示されます。
③メーリングリストアドレス	登録されているメーリングリストのアドレスが表示されます。
④メンバー数	メーリングリストのメンバー登録数と登録可能な最大数が表示されます。
⑤編集	メーリングリストの設定変更画面に進みます。
⑥メーリングリスト数	ご利用中のメーリングアドレスと利用可能なメーリングアドレス数が表示されています。

■メーリングリストの編集

登録してあるメーリングリストのメンバー編集や各種設定の変更が行えます。

メーリングリスト右側の **編集** をクリックし、各項目を編集後、**保存** をクリックします。

各項目の説明につきましては、[メーリングリストの新規登録](#)の項目をご参照ください。



■メーリングリストの削除

「メール」から「メーリングリスト」に進み、削除対象のメーリングリストにチェックを入れ、**削除** をクリックします。



確認画面が表示されますので、確認の上、**削除** をクリックして削除完了です。

一括迷惑メールフィルター

迷惑メールフィルター（最大 200 件まで）を、全ユーザーに一括で設定・管理することができます。

契約者またはドメイン管理者で Control Panel にログインし、左メニューの「メール」から「迷惑メールフィルター設定」に進みます。

続いて、「迷惑メールリスト」欄に拒否したいメールアドレスまたはドメイン名を入力し、「動作」を選択して **保存** をクリックして設定します。

①迷惑メールリスト	拒否したい送信元のドメイン名またはアドレスを 1 行ずつ入力してください。 【設定例】 ✓ who@example.org "who@example.org" から送信される全てのメールを受信拒否します。 ✓ .org ".org" から送信される全てのメールを受信拒否します。 ✓ @example.org "@example.org" から送信される全てのメールを受信拒否します。
②動作：自動削除する	条件に一致したメールを自動的に削除する場合に選択します。 受信したメールをサーバーへ保存せずに破棄します。
③動作：エラーメールを返す	条件に一致したメールの送信者にエラーメールを返信する場合に選択します。 受信したメールの送信者へエラーメールを送信し、受信メールはサーバーに保存されません。

メール機能一時停止

メール機能一時停止は、Control Panel から、メールに関わる機能の 一時停止/停止解除 を行う機能です。
契約者およびドメイン管理者のユーザーで設定が行えます。

メール機能を一時停止すると、全てのメールアドレス、メーリングリスト、ヴァーチャルメールアドレスが停止状態となり、メール内部配送の発生を防ぐことができます。なお、サーバー上に保存されているメールは削除されませんが、受信・送信はできません。メール機能の停止を解除すると、停止状態だった全てのメールアドレス、メーリングリスト、ヴァーチャルメールアドレスが再稼働し、即時利用可能となります。

契約者またはドメイン管理者アカウントで Control Panel にログインし、「メール」から「メール機能停止」に進みます。
「現在のメール機能の状態」の「停止中-利用中」のスイッチをクリックします。



確認画面が表示されますので、確認の上、**停止する** をクリックします。



一時的に停止していたメール機能を有効にするには、同様の手順で「停止中-利用中」のスイッチをクリックし、「利用中」に変更します。

海外 SMTP 認証制限

お客さまのメールアドレスが第三者から不正に利用されないよう、日本国外からの SMTP 接続を制限する機能です。
一時的に海外からご利用になる場合、そのタイミングで「国内のみ/制限なし」の切り替えも可能です。

国内のみ	有効	SMTP サーバーへの接続を国内のみに制限します。
制限なし	無効	海外（日本国外）からの SMTP サーバーへの接続を制限しません。 メールアドレス利用者本人が海外からメール機能を利用する場合は、こちらの設定が必要です。

■ユーザー新規追加時に設定する

契約者またはドメイン管理者のアカウントで Control Panel にログインし、[ユーザー新規追加](#) > ユーザー登録の画面で

メール・FTP 項目内の「海外からの SMTP 認証を制限する」にチェックを入れます。

■契約者またはドメイン管理者が既存のメールアドレスに海外 SMTP 認証制限を一括設定する場合

契約者またはドメイン管理者のアカウントで Control Panel にログインし、左メニュー「メール」をクリックします。

メールアドレス一覧の画面で制限をかけたいメールアドレス左のチェックボックスにチェックをいれ、一覧の左上に表示される

海外 SMTP 認証制限 をクリックすると、一括で制限をかけることができます。

■契約者またはドメイン管理者が既存のメールアドレスに海外 SMTP 認証制限を個別に設定する場合

契約者またはドメイン管理者のアカウントで Control Panel にログインし、左メニュー「メール」をクリックします。

メールアドレス一覧の画面で制限をかけたいメールアドレス右の「海外 SMTP 認証制限」列から **設定** をクリックすると、そのメールアドレスに個別で制限をかけることができます。

例) メールアドレス, コメント

検索

20件表示 ▼

海外SMTP認証制限

☐ メールアドレス	コメント	未受信 / 受信済	使用状況	受信済メール削除	海外SMTP認証制限				
☐ domain-admin@example.com		0 / 0	0.0 MB	削除	制限なし 設定	未設定	フィルター	未設定	自動返信
☐ web-admin@example.com		0 / 0	0.0 MB	削除	制限なし 設定	未設定	フィルター	未設定	自動返信
☐ example@example.com		0 / 0	0.0 MB	削除	制限なし 設定	未設定	フィルター	未設定	自動返信

■サイト管理者・一般ユーザーが自身のメールアドレスに海外 SMTP 認証制限を設定する

サイト管理者または一般ユーザーのアカウントで Control Panel にログインし、マイアカウントを表示します。

マイアカウントページの画面下部「海外 SMTP 認証制限」の **設定** をクリックして制限をかけることができます。

マイアカウント ?

基本情報

ユーザー名

user

パスワード

編集

コメント

ユーザー権限

一般ユーザー

メール情報

メールアドレス

user@example.com

メールアカウント

user@example.com

WebメールのURL (Roundcube)

https://roundcube

メールボックス使用量

0.0MB

未受信数 / 受信済数

0 / 0

受信済メール削除

海外SMTP認証制限

制限なし **設定**

メール設定

フィルター

自動返信

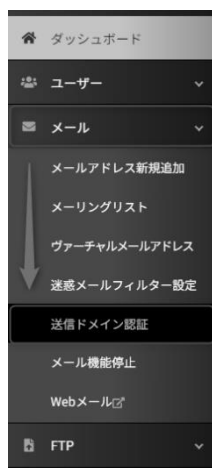
送信ドメイン認証（DKIM 設定方法）

DKIM（DomainKeys Identified Mail）は、送信したメールが「正規の送信者から送信された改ざんされていないメール」であることを証明できる、電子署名方式の認証技術です。

メール送信時に、秘密鍵によって生成した署名情報を、送信メールのヘッダーに記述します。送信メールの改ざん・なりすましを防ぐ技術となり、送信メールの信頼性向上やメール到達率の向上が期待できます。

■送信ドメイン認証（DKIM）の設定

Control Panel にログインし、メール > [送信ドメイン認証] をクリック



[鍵生成/更新] をクリック

※[送信メールへの署名]スイッチは **TXT レコードを DNS へ追記後、利用中に変更**してください

DKIM 鍵の生成・更新画面で[実行する]をクリック

■TXT レコードの登録

Control Panel の[値]欄に表示された＜公開鍵＞をご利用のネームサーバーの TXT レコードへ登録します。

※値の部分に関しては先頭と末尾に"(ダブルクォーテーション)を記述する必要がある場合がございます。

記述につきましては、DNS サーバーの提供元へご確認の上、設定してください。

ホスト名	クラス	タイプ	値
dkim-red._domainkey または dkim-blue._domainkey	IN	TXT	v=DKIM1; k=rsa; p=＜公開鍵＞

※DKIM 鍵の生成・更新を再度実行した場合は、最終更新された値を入力してください。

✓ 複数の DKIM レコードを設定する場合

DKIM レコードは、セレクト（ホスト名）が異なる場合、複数行で設定可能です。同じセレクト（ホスト名）に対して複数行の DKIM レコードは設定できません。

✓ レコードの伝播に関して

TXT レコードをご修正いただいた後、反映までにお時間がかかるため、レコードの登録後、**1 時間以上**の間をあけてから STEP5 の送信メールへの署名スイッチを利用中へ変更ください。

■DKIM 署名の有効化

送信メールへの署名のスイッチをクリック



DKIM 署名の有効化画面で[有効にする]をクリック



以上で DKIM 設定は完了です。

✓ DKIM 署名付与について

DKIM 署名の付与はメールクライアントや Web メールなどを利用した SMTP 認証を経て送信されたメールにのみ対応しております。下記のメール配送には DKIM 署名が付与されませんのでご注意ください。

- Header From と Return-Path が一致していないメール
- Web,Cron サーバーから CGI/PHP 等が sendmail コマンドを使って送ったメール
- メーリングリストやヴァーチャルメールアドレス、メールフィルターを介して送られるメール
- サーバー提供機能（ディスク使用量超過、同時接続数超過）が送る通知メール
- ご提供中のサーバー以外から送信されるメール

FTP

登録されている FTP アカウントの一覧が表示されます。

FTP（アカウント一覧および新規追加）

- ※ 契約者アカウントでは、FTP アカウントの追加、各ユーザーの FTP に対する設定の確認・変更のみが行えます。
FTP 接続は行えません。
- ※ 一般ユーザーの場合、ウェブ領域にユーザー専用ディレクトリが作成され、そのディレクトリに対してのみ FTP アクセスできます。

左メニューの「FTP」をクリックすると、現在サーバーに設定されている FTP アカウントの一覧が表示されます。

FTP アカウントを追加する場合は、**新規追加**をクリックして、[ユーザー新規追加](#)に進みます。



一覧の FTP アカウントの部分をクリックすると、FTP 接続情報およびパスワードの変更が行えます。

FTPアカウント情報

ユーザー

domainadmin

ユーザー権限

ドメイン管理者

FTPアカウント

domainadmin@example.com

FTPパスワード

お客様のログインパスワード

編集

FTPサーバー

通常の場合

ftp.example.com

DNS設定前の場合

- ※ FTP パスワードの **編集** から、FTP アカウントのパスワードを変更すると、メールアカウントや Control Panel のログインパスワードも変更となりますのでご注意ください。

Web

Web

Control Panel にログインし、左メニューの「Web」をクリックすると、Web サーバーに関する各種情報の一覧が表示されます。



① ディスク使用量	Web サーバーの使用量が表示されます。 右側の更新ボタンをクリックすると最新の情報をご確認いただけます。 ※更新ボタンをクリック後、1 時間以上経過すると再度クリックできます。
② ファイルマネージャー	Web ブラウザから、ファイル、ディレクトリの各種操作を行えるファイル管理ツールです。
③ 対象サイト	ご利用中のドメイン名が表示されます。
④ ドキュメントルート(絶対パス)	割り当てられたドキュメントルートが表示されます。
⑤ PHP バージョン	利用している PHP バージョンが表示されます。
⑥ SSL サーバー証明書	SSL 証明書利用時の URL、SSL の有効期限（日時）、ステータスが表示されます。
⑦ 共用 SSL URL	割り当てられた共用 SSL の URL を確認できます。 ご利用のドメイン名の前に、共用 SSL サーバー名が入ります。
⑧ Web サーバーIP アドレス	そのドメイン名で利用する Web サーバーの IP アドレスを確認できます。
⑨ プレビューサーバー	DNS 切り替え前にウェブサイトアクセスできる機能です。
⑩ 時刻	確認時点の時刻が表示されます。

ディスク使用量

■Web の使用量確認

左メニューの「Web」をクリックすると確認できます。更新ボタンを押下すると使用量の情報が更新され、再度更新したい場合には、1 時間経過後に再び押下できます。



■メールの使用量確認

左メニューの「メール」をクリックすると確認できます。更新ボタンを押下すると使用量の情報が更新され、再度更新したい場合には、1 時間経過後に再び押下できます。



■使用量通知設定

Web、メールともに一定の使用量の超過した場合に通知するメールアドレスを設定できます。

使用量通知設定 をクリックし、超過容量とメールアドレスを指定し、**保存** をクリックして設定完了です。

 The screenshot shows the '使用量通知設定' form. It has fields for '警告値(メール)' and '警告値(Web)', both currently set to '通知しない'. There are three input fields for '送信先1', '送信先2', and '送信先3'. At the bottom are 'キャンセル' and '保存' buttons. A dropdown menu is open next to the '警告値' fields, showing options: '通知しない', '使用量が 50% を超えたら通知', '使用量が 60% を超えたら通知', '使用量が 70% を超えたら通知', '使用量が 80% を超えたら通知', and '使用量が 90% を超えたら通知'.

プレビューサーバー

プレビューサーバーは、DNS 切り替え前にウェブサイトを疑似的に表示して確認できる機能です。

- ※ WordPress や Movable Type など、データベースを使用しているアプリケーションや、CGI で動作する、「動的コンテンツ」の場合、プレビューサーバーでは表示できない場合があります。上記のようなコンテンツの確認は、PC に hosts ファイルの設定を行ってからブラウザよりご確認ください。
- ※ プレビューサーバーでは、相対パス（./example.jpg）で記述されている画像は表示されません。また、同じく相対パスのリンクなどは正常に動作しませんので、ご注意ください。

■プレビューサーバーへのアクセス

左メニューの「Web」から「プレビューサーバー」の URL の箇所をクリックすると、プレビュー画面が表示されます。



停止となっている場合（URL が表示されていない場合）は、**停止** をクリックして **稼働** に変更すると URL が表示されます。



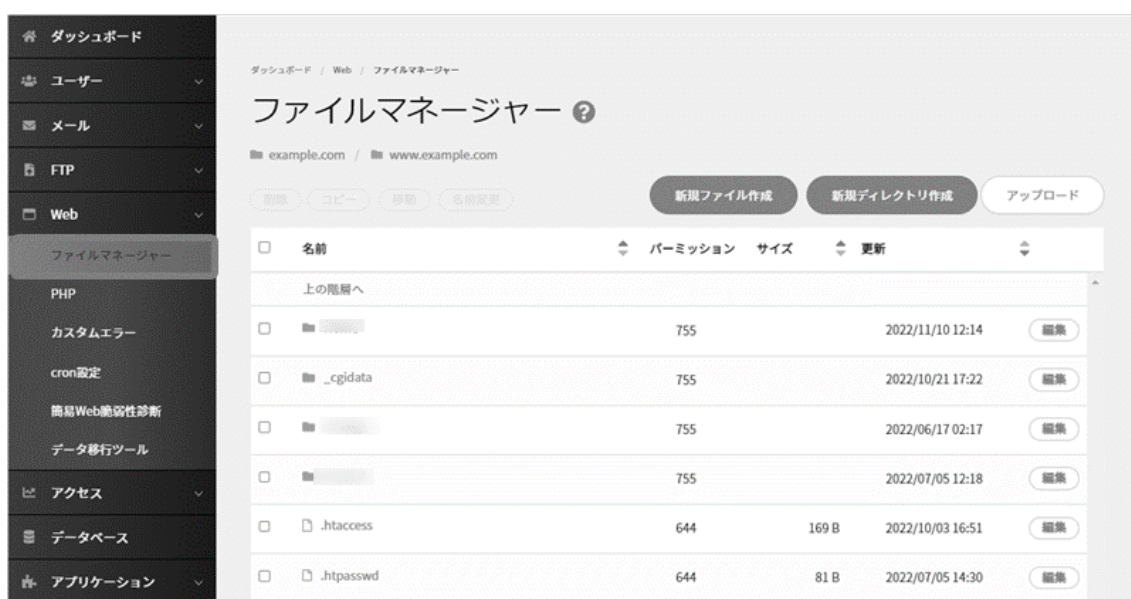
ファイルマネージャー

Web ブラウザから、ファイル、ディレクトリの各種操作を行えるファイル管理ツールです。

- 新規ファイルの作成 / ディレクトリの作成
- サーバーへのファイルのアップロード
- ファイルの名前変更 / ファイルのコピー / ファイルのモード変更 / ファイルの削除 / ファイルの移動

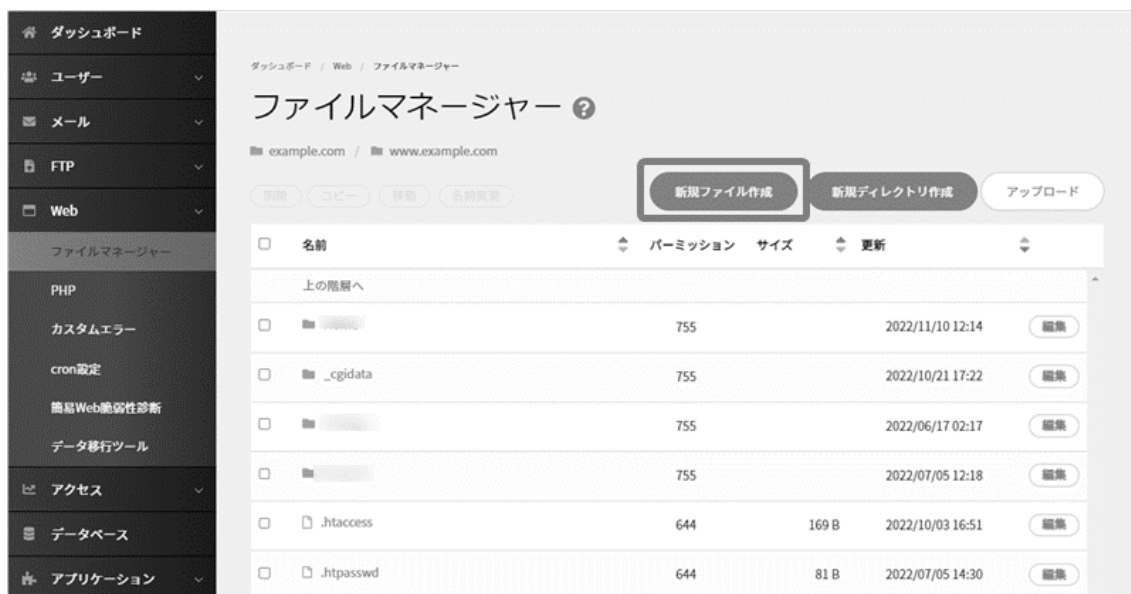
※ 各ファイルやディレクトリの作成、ファイルのアップロードを行う前に、対象にディレクトリまで進んでから作業を行ってください。

Control Panel にログインし、左メニューの「Web」から「ファイルマネージャー」にアクセスします。



■新規ファイルの作成

ファイル設置場所のディレクトリまで進み、**新規ファイル作成**をクリックするとファイル作成画面が表示されます。



ファイル名、文字コード、パーミッション、本文を記述し、**保存**をクリックして作成完了です。

ダッシュボード / Web / ファイルマネージャー / ファイル新規作成

ファイル新規作成 ?

ファイル名 必須

文字コード

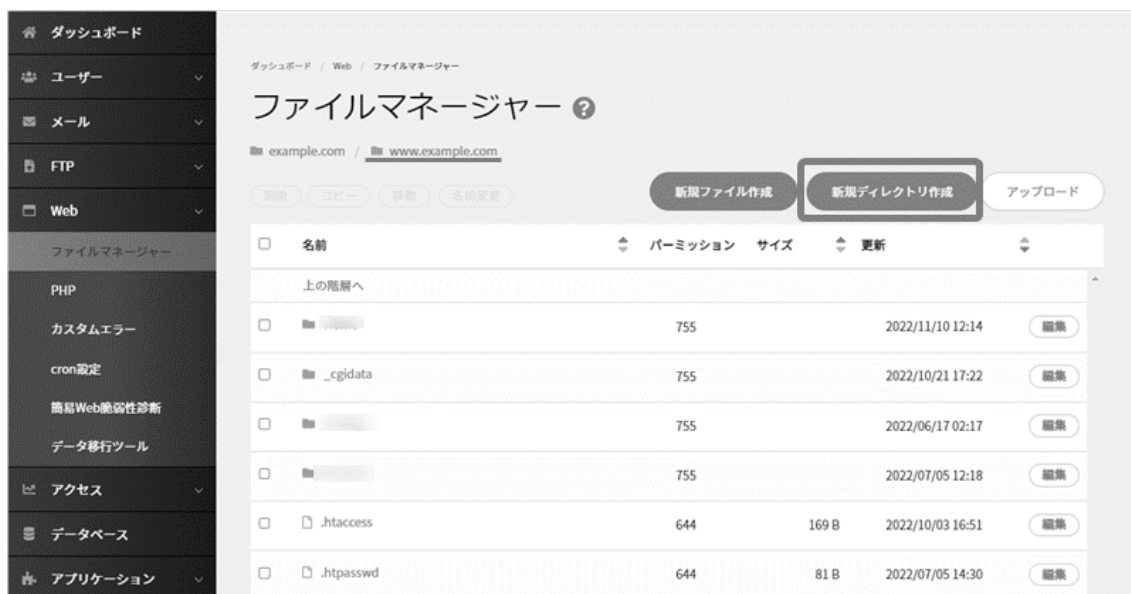
パーミッション

所有者	グループ	その他
☒ 呼出	☒ 呼出	☒ 呼出
☒ 書込	☐ 書込	☐ 書込
☐ 実行	☐ 実行	☐ 実行

```
<!DOCTYPE html>
<html>
<head>
<title></title>
<meta charset="utf-8">
<meta name="description" content="">
<link rel="stylesheet" href="">
</head>
<body></body>
</html>
```

■ディレクトリの作成

ディレクトリ設置場所まで進み、**新規ディレクトリ作成**をクリックします。

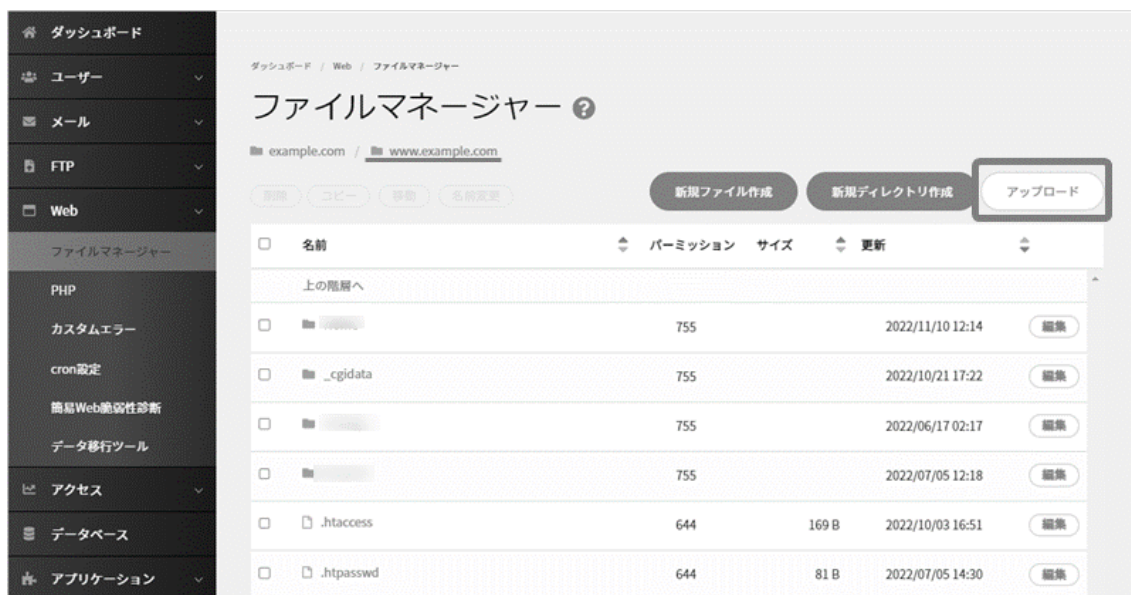


ディレクトリ名、パーミッションを指定して**保存**をクリックして作成完了です。

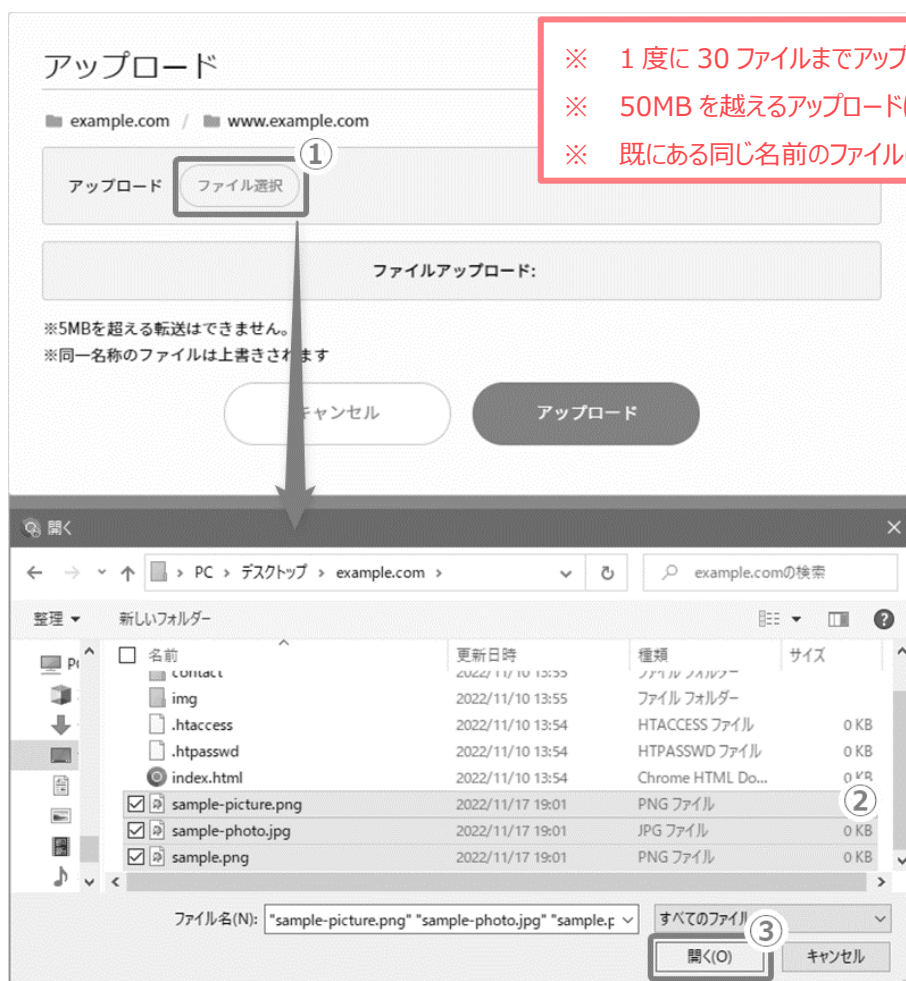
The screenshot shows the 'Directory Creation' (ディレクトリ作成) form. It has a title 'ディレクトリ作成 ?' and a breadcrumb path 'Dashboard / Web / File Manager / Directory Creation'. The form contains two main sections: 'Directory Name' (ディレクトリ名) and 'Permissions' (パーミッション). The 'Directory Name' section has a text input field with a red 'required' (必須) label and a note: 'Useable characters are alphanumeric and hyphen (-)'. The 'Permissions' section has a dropdown menu set to '755'. Below this, there are three columns of checkboxes for 'Owner' (オーナー), 'Group' (グループ), and 'Other' (その他). Each column has three checkboxes: 'Read' (呼出), 'Write' (書込), and 'Execute' (実行). All checkboxes are checked. At the bottom, there are two buttons: 'Cancel' (キャンセル) and 'Save' (保存).

■ファイルのアップロード

アップロード先のディレクトリまで進み、**アップロード**をクリックします。



ポップアップ内の**ファイル選択**をクリックしてファイルを選択し、**アップロード**をクリックします。



■ファイルの名前変更

対象ファイルにチェックを入れて **名前変更** をクリックし、ファイル名を入力して **保存** をクリックします。



■ファイルのコピー

対象ファイルにチェックを入れて **コピー** をクリックします。コピー先のディレクトリを指定し、ファイル名を入力し、**保存** をクリックします。

The screenshot shows the 'File Manager' interface. At the top, there are navigation links: 'ダッシュボード / Web / ファイルマネージャー'. The main title is 'ファイルマネージャ ?'. Below it, the current path is 'example.com / www.example.com'. There are several action buttons: '削除', 'コピー', '移動', '名前変更', '新規ファイル作成', '新規ディレクトリ作成', and 'アップロード'. A table lists files and directories:

☐	名前	パーミッション	サイズ	更新	
	上の階層へ				
☐	_cgidata		755	2022/11/08 18:18	編集
☐	index.htm		644 347 B	2022/11/08 18:18	編集
☐	sample-photo.jpg		644 0 B	2022/11/17 19:02	編集
☐	sample-picture.png		644 0 B	2022/11/17 19:02	編集
☒	sample.png		644 0 B	2022/11/17 19:02	編集

A red box highlights the 'コピー' button, and a red arrow points from it to the 'コピー' dialog box. The dialog box has a title bar with a close button. It shows the current path 'example.com / www.example.com'. It has a 'コピー先' (Copy to) dropdown menu set to 'www.example.com'. It has a 'コピー:' (Copy:) text input field containing 'sample-copy.png'. At the bottom, there are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and '保存' (Save).

■ファイルのモード（パーミッション）変更

対象ファイル右側の **編集** をクリックし、パーミッションを入力して **保存** をクリックします。

The image shows a two-step process for changing file permissions. The top screenshot is the 'File Manager' page, displaying a table of files. The bottom screenshot is the 'File Edit' page, where the 'index.htm' file is selected for editing. A large arrow points from the 'Edit' button in the first screenshot to the 'File Edit' page in the second.

File Manager Screenshot:

名前	パーミッション	サイズ	更新	
上の階層へ				
☐ _cgidata	755		2022/11/08 18:18	編集
☐ index.htm	644	347 B	2022/11/08 18:18	編集
☐ sample-photo.jpg	644	0 B	2022/11/17 19:02	編集
☐ sample-picture.png	644	0 B	2022/11/17 19:02	編集
☐ sample.png	644	0 B	2022/11/17 19:02	編集

File Edit Screenshot:

ファイル名 **必須**

文字コード

パーミッション

オーナー グループ その他

☒ 呼出 ☒ 呼出 ☒ 呼出

☒ 書込 ☐ 書込 ☐ 書込

☐ 実行 ☐ 実行 ☐ 実行

チェックのオンオフでパーミッションの数値が自動的に変わります

最終更新日 2022/11/08 18:18

表示 **保存して続行** **ダウンロード**

キャンセル **保存**

■ファイルの削除

対象ファイルにチェックを入れて **削除** をクリックし、対象ファイルをご確認のうえ、 **削除** をクリックします。

※ 削除したファイルは元に戻せませんのでご注意ください。



ダッシュボード / Web / ファイルマネージャ

ファイルマネージャ ?

example.com / www.example.com

削除 コピー 移動 名前変更 新規ファイル作成 新規ディレクトリ作成 アップロード

☐	名前	パーミッション	サイズ	更新	
上の階層へ					
☐	_cgidata		755	2022/11/08 18:18	編集
☐	index.htm		644 347 B	2022/11/08 18:18	編集
☐	sample-photo.jpg		644 0 B	2022/11/17 19:02	編集
☐	sample-picture.png		644 0 B	2022/11/17 19:02	編集
☒	sample.png		644 0 B	2022/11/17 19:02	編集

データ削除

データの復元はできません。
削除しますか？

削除データ: ☐ sample.png

キャンセル 削除

■ファイルの移動

対象ファイルにチェックを入れて **移動** をクリックし、移動先のディレクトリを指定して **保存** をクリックします。

The screenshot displays the 'File Manager' (ファイルマネージャ) interface. At the top, there are navigation links for 'Dashboard' (ダッシュボード), 'Web', and 'File Manager' (ファイルマネージャー). Below the title, there are two location indicators: 'example.com' and 'www.example.com'. A row of action buttons includes 'Delete' (削除), 'Copy' (コピー), 'Move' (移動), and 'Rename' (名前変更). To the right are buttons for 'New File Creation' (新規ファイル作成), 'New Directory Creation' (新規ディレクトリ作成), and 'Upload' (アップロード). The main area is a table listing files and directories. The file 'sample.png' is selected with a checkbox. A large arrow points from the 'Move' button to a modal dialog box titled '移動' (Move). The dialog box shows the current location 'example.com / www.example.com', a dropdown menu for the destination set to 'www.example.com/img', and the file being moved 'sample.png'. At the bottom of the dialog are 'Cancel' (キャンセル) and 'Save' (保存) buttons.

☐	名前	パーミッション	サイズ	更新	
	上の階層へ				
☐	📁 _cgidata		755	2022/11/08 18:18	編集
☐	📁 img		755	2022/11/17 19:58	編集
☐	📄 index.htm		644 347 B	2022/11/08 18:18	編集
☐	📄 sample-photo.jpg		644 0 B	2022/11/17 19:02	編集
☐	📄 sample-picture.png		644 0 B	2022/11/17 19:02	編集
☒	📄 sample.png		644 0 B	2022/11/17 19:02	編集

移動

example.com / www.example.com

移動先:

移動:

PHP 設定

サーバーで利用する PHP バージョンの設定・確認・変更が行えます。

※ PHP のバージョンを切り替えた場合、プログラムを修正しないと正常に動作しなくなる可能性があります。お手数ですが、スクリプト配布元の動作要件や、プログラムの内容をご確認いただき、適切なバージョンをご選択ください。

Control Panel にログインし、「Web」から「PHP」のメニューをクリックすると、現在利用している PHP バージョンが表示されます。



PHP のバージョンを切り替える場合は、対象のバージョンにチェックを入れて **保存** をクリックします。



WP キャッシュ（WordPress 表示高速化）

■WP キャッシュ（WordPress 表示高速化）とは

「WP キャッシュ」は、WordPress サイトの表示速度を高速化する機能です。

本機能は、Web サーバー「LiteSpeed」と WordPress の「LiteSpeed Cache プラグイン」を連携させ、サイト表示を高速化するサービスです。

従来は、アクセスがあるたびに Web ページを生成していましたが、「WP キャッシュ」を利用することで、一度生成したページをサーバー内に記憶（キャッシュ）しておき、次のアクセス時に高速な応答が実現でき、サイト訪問者の体感速度が大幅に向上します。

ご利用には、（１）サーバー管理画面での WP キャッシュの有効化と、（２）お客さまの WordPress 管理画面でのプラグイン設定の２段階の作業が必要となります。

■ご利用手順

（１）サーバー管理画面での WP キャッシュの有効化

サーバー管理画面にログインし、左メニューの [Web] > [WP キャッシュ] > 「キャッシュ機能の利用」をクリックします。



ポップアップ画面で「利用する」をクリックします。



「キャッシュ機能の状態」が「有効」となります。



設定の反映タイミング

設定変更の反映（利用/停止）は、サーバーに反映されるまで**最大 30 分程度**かかります。

「キャッシュ機能の状態」が「有効」に変わるまでお待ちください。

「キャッシュのクリア」は即時実行、反映となります。

（２）お客さまの WordPress 管理画面でのプラグイン設定

次に、お客さまの WordPress 管理画面で「LiteSpeed Cache」プラグインをインストールします。

※ WordPress アプリインストーラーで「LiteSpeed Cache」同梱版を利用された場合、プラグインはインストール済みとなるため、[STEP1]～[STEP2]のプラグインを追加する操作は不要となります。
[STEP3]の「プラグインの有効化」から操作を行ってください。

WordPress 管理画面にログインし、[プラグイン] > [プラグインを追加] をクリックします。

検索ボックスに「**LiteSpeed Cache**」と入力し、表示されたプラグインの [今すぐインストール] をクリックします。



インストールが完了したら、[有効化] ボタンをクリックします。



キャッシュが有効化しない場合

プラグインを有効化すると、キャッシュ機能が自動的に ON になります。

(もし自動で有効にならない場合や、一度 OFF にした場合は、以下の手順で有効化してください)

WordPress 管理画面にログインし [LiteSpeed Cache] をクリックします。

[キャッシュ] タブが開いていることを確認します。

「キャッシュを有効にする」の「オン」をクリックします。

[変更を保存] をクリックします。



■キャッシュの動作確認方法

キャッシュの動作確認方法

WP キャッシュが適用されたアクセスとなっているかはデベロッパーツールで確認することができます。

デベロッパーツールを開く

対象のウェブサイト Google Chrome で開き、画面のどこかで「右クリック」>「検証」を選択します。

※キーボードの[F12] キーでもデベロッパーツールが開きます。



「ネットワーク」タブの準備

デベロッパーツール上部のタブから「ネットワーク」を選択します。

正確にサーバーのキャッシュを計測するため、「キャッシュを無効化」にチェックを入れます。

その下にあるフィルタで「ドキュメント」を選択します。

これにより、メインの HTML ファイルの通信だけを抽出でき、確認しやすくなります。



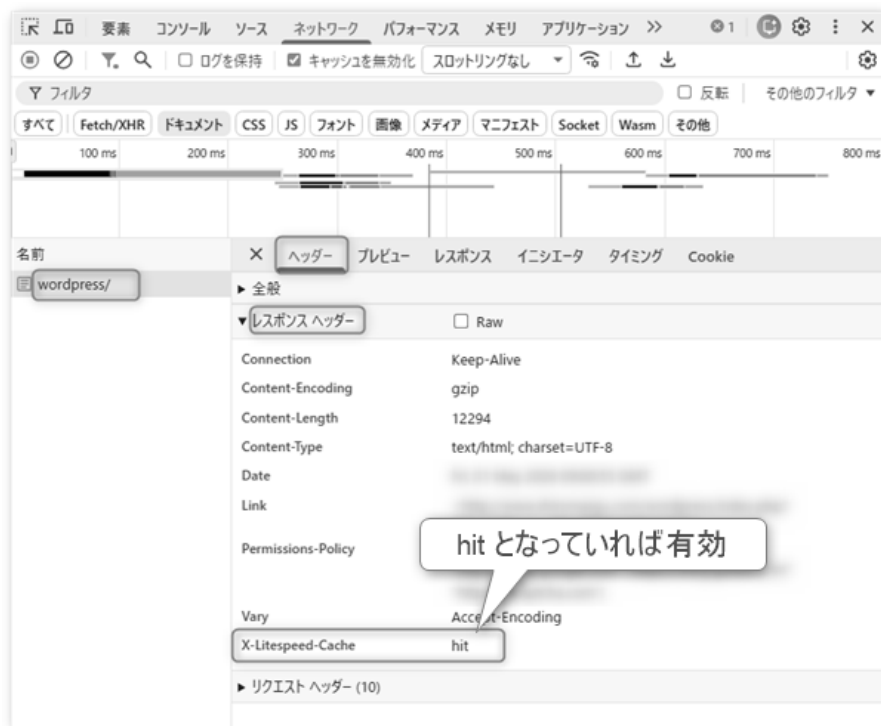
再度読み込みを行い、有効化できているか確認する

[F5]キーなどを押しページを再読み込みします。

リストに表示されたご自身のサイトの URL をクリックします。

右側に詳細パネルが開くので、「ヘッダー」タブの「レスポンスヘッダー」を確認します。

x-litespeed-cache: hit という記述があれば、WP キャッシュが機能しています。



x-litespeed-cache: miss となる場合

キャッシュがまだ生成されていない（初回アクセスなど）状態です。もう一度リロードして「hit」に変わるか確認してください。

x-litespeed-cache: no-cache となる場合

プラグインの設定により、意図的にキャッシュ対象外とされているページです。 例：管理画面、カートページなど

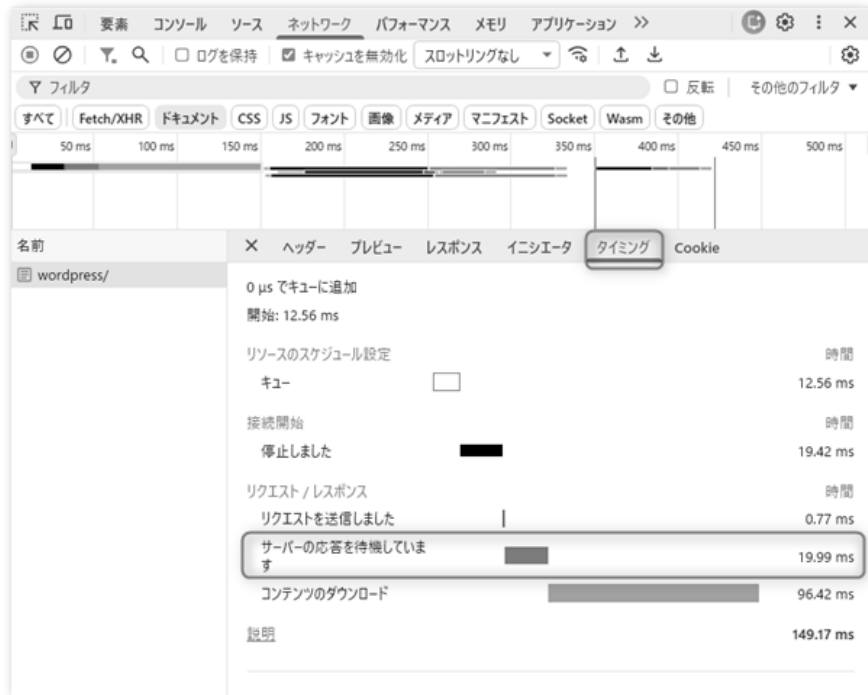
速度の改善を確認する

同じ詳細パネルの「タイミング」タブを開きます。

グラフの中の緑色のバー、「サーバーの応答を待機しています」の数値を確認します。

※専門用語で TTFB: Time to First Byte と呼ばれる、サーバーの処理時間を示す指標です。

WP キャッシュが「hit」している場合、この待機時間が大幅に（数十ミリ秒単位に）短縮されることが確認できます。



■キャッシュの削除（ページ）方法

サイトを更新したのに変更が反映されない場合は、キャッシュの削除をお試しください。削除方法は 2 通りあります。

WordPress 管理画面から削除する

プラグインの機能を使って、キャッシュを論理的に削除（ページ）します。

サイト更新時など、手軽にキャッシュをクリアしたい場合におすすめです。



サーバー管理画面から削除する

サーバーに保存されているキャッシュファイルを、すべて物理的に削除する確実な方法です。



「クリア」ボタンを押すことで即時キャッシュの削除（ページ）となります。

プラグイン起因で管理画面にアクセスできない場合はこちらで削除（ページ）を行ってください。

■キャッシュ（表示高速化）の対象外について

以下のページや機能は、キャッシュ（高速化）の対象外となり、従来通りの速度で表示されます。

LiteSpeed Cache プラグインの設定によっては対象とすることは可能ですが、サイト構成に依存するため、弊社からの案内ではサポート外となります。

WordPress の管理画面（例：/wp-admin/ など）（※）

ただし、管理画面にログインした状態でのサイト閲覧は「プライベートキャッシュ」としてキャッシュされます。

画像ファイル、CSS、JavaScript ファイルなど

LiteSpeed Cache プラグインがキャッシュ不要と判断したコンテンツ

SSL 接続について

以下の URL で SSL 接続しているサイトは「WP キャッシュ」機能をご利用いただけません。

共用 SSL（<https://secureXX.XXXX.shared-server.net/www.ご利用ドメイン名/>）形式をご利用のページ

プレビューサーバー（<http://preview.XXX.shared-server.net:8080/www.ご利用ドメイン名/>）形式をご利用の場合

SSL 接続による高速化をご希望される場合は独自 SSL をご利用ください。

■サポート・運用について

▼ サポート対象

サーバー管理画面での「WP キャッシュ」機能の有効化・無効化、キャッシュクリアの操作案内

WordPress 管理画面での「LiteSpeed Cache」プラグインのインストール・有効化までの手順案内

▼ サポート対象外（お客さまの自己責任にてご利用ください）

「LiteSpeed Cache」プラグインの詳細設定（例：CSS/JS の最適化、画像の最適化、Quic.cloud 連携など）

お客さまが利用中の他のプラグインやテーマとの競合・相性問題

プラグインの詳細設定によって発生したサイトの表示崩れや不具合

※「LiteSpeed Cache」プラグインは非常に多機能ですが、詳細な最適化設定（CSS/JS の圧縮・結合など）は、お客さまがご利用中のテーマや他のプラグインとの組み合わせに強く依存します。

動作保証が困難なため、「LiteSpeed Cache」プラグインインストール・有効化までのサポートとさせていただきます。

カスタムエラー

お客さまが独自で作成された、Web サイトの HTTP エラー用ページを指定できます。

Control Panel にログインし、「Web」内の「カスタムエラー」に進み、エラーコード別に設定し、**保存**をクリックして設定完了です。

ダッシュボード / Web / カスタムエラー

カスタムエラー ?

対象サイト: www.example.com

401	☐ サーバー初期ページ ☐ カスタム初期ページ (/401.html) ☒ ユーザー設定ページ 設置場所: error/my401.html
403	☒ サーバー初期ページ ☐ カスタム初期ページ (/403.html) ☐ ユーザー設定ページ 設置場所:
404	☒ サーバー初期ページ ☐ カスタム初期ページ (/404.html) ☐ ユーザー設定ページ 設置場所:
500	☒ サーバー初期ページ ☐ カスタム初期ページ (/500.html) ☐ ユーザー設定ページ 設置場所:

キャンセル 保存

エラーコード		カスタマイズできるエラーコードです。
説明	401	パスワード認証に失敗した場合のエラーコード
	403	アクセス制限でウェブサイトが表示できない場合のエラーコード
	404	ファイルが見つからない場合のエラーコード
	500	サーバー内部でエラーが発生した場合のエラーコード
説明	サーバー初期ページ	ウェブサーバー標準のエラーページです。カスタマイズしない場合に選択してください。
	カスタム初期ページ	サンプルのエラーページです。ドキュメントルートのディレクトリにエラーコード.html が作成されます。必要に応じてファイルを編集してください。
	ユーザー設定ページ	エラーページをファイル指定できます。ファイル設置場所を / から絶対パスで指定します。 例) error/my404.html

cron 設定（旧コマンドスケジューラー）

旧 Control Panel のコマンドスケジューラーで設定されていたコマンド実行のスケジュールを確認、追加、変更、削除が行えます。

■スケジュール新規追加

Control Panel にログインし、左メニューの「Web」から「cron 設定」に進み、**新規追加**をクリックします。



各項目を選択・入力の上、**保存**をクリックします。

①	繰り返し設定	実行したい日や曜日等を指定します。
②	実行時刻	実行したい時刻を指定します。
③	コマンドパス	指定された日時に実行するスクリプトの保存場所を指定します。 パスは、Web のホームディレクトリからの相対パスになります。 【設定例】<u>www.example.com/test.cgi</u>

■スケジュールの編集

対象スケジュール右側の **編集** をクリックします。



内容を編集後、**保存** をクリックします。

■スケジュールの削除

削除対象のスケジュールにチェックを入れ、**削除**をクリックします。



確認画面が表示されますのでご確認の上、**削除**をクリックします。



モバイル設定（旧シングル URL）

Web サイトにアクセスした端末（User-Agent）を判定し、指定した URL へ転送する機能です。

※ 転送先 URL に指定するディレクトリやファイルは、事前に作成しておく必要があります。

Control Panel にログインし、左メニューの「Web」から「モバイル設定」に進み、User-Agent と転送先 URL を入力して、

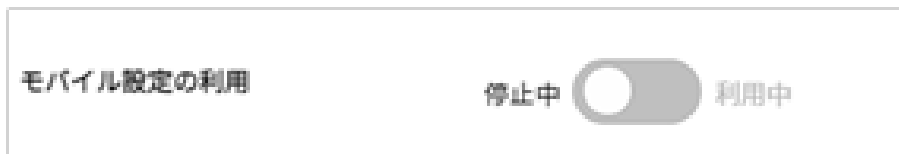
保存 をクリックします。

※初期設定では「停止中」となっていますので、「停止中」の状態が必要情報を入力して保存してください。

対象サイト	モバイル設定の対象となるサイトが表示されます。
モバイル設定の利用	初期値では「停止中」となっていますので、使用する場合は「利用中」に変更します。
User-Agent	転送する User-Agent を指定します。主な携帯端末とその User-Agent は上記一覧をご参照ください。 ※User-Agent は機種によって変更される可能性がありますのでご注意ください。
転送先 URL	User-Agent が一致した場合に転送する先の URL を指定します。 入力書式は／からの絶対パスで記述してください。※画面キャプチャ内の URL は見本です。

携帯端末	User-Agent	携帯端末	User-Agent
iPhone	iPhone	NTT ドコモ	DoCoMo
iPad	iPad	au	KDDI
Android	Android	SoftBank	SoftBank

「モバイル設定を保存しました」と表示されたら、「モバイル設定の利用」の「利用中」をクリックします。



確認画面で、**利用する**をクリックします。



※ iPhone や Android などの場合、UserAgent の形式がほかのキャリアと異なるため、.htaccess ファイルを以下のように手動にて変更していただくことでキャリアの判別が可能となります。

FTP でダウンロード、またはファイルマネージャーから「www.ドメイン名」のディレクトリ配下にある「.htaccess」にアクセスして、内容を編集します。（^ (キャレット)の箇所を消します。）

【変更前】

```
RewriteEngine On
RewriteCond %{HTTP_USER_AGENT} ^iPhone
RewriteRule ^$ /iphone/ [R=302]
RewriteCond %{HTTP_USER_AGENT} ^Android
RewriteRule ^$ /android_site/ [R=302]
```

【変更前】

```
RewriteEngine On
RewriteCond %{HTTP_USER_AGENT} iPhone
RewriteRule ^$ /iphone/ [R=302]
RewriteCond %{HTTP_USER_AGENT} Android
RewriteRule ^$ /android_site/ [R=302]
```

データ移行ツール

他社でご利用のサーバーのウェブサイトのコンテンツを弊社のサーバーへ簡単に転送できるツールです。

※ あらかじめ移行元のサーバー情報（FTP 接続情報）をお手元にご用意ください。

Control Panel にログインし、「Web」から「データ移行ツール」に進み、各項目に情報を入力し、**開始**をクリックします。

①移行先サイト	サーバーで利用されているドメイン名を選択し、コピー先のディレクトリを指定します。 「www.ドメイン名」のホームディレクトリへコピーする際は、ディレクトリの指定はせず空欄にします。
②サイト IP アドレス	移行元の FTP サーバーの IP アドレスを入力します。
③FTP アカウント	移行元のサーバーの FTP アカウントを入力します。
④FTP パスワード	移行元サーバーの FTP アカウントのパスワードを入力します。
⑤サイトディレクトリ	移行元サーバーのサイトのディレクトリを指定します。 ※指定されたディレクトリ配下のファイルやディレクトリをコピーします。 ※空欄の場合は、移行元サーバーのホームディレクトリ以下をコピーします。
⑥タイムスタンプ	FTP コピー中、サーバー上に同名のファイルやディレクトリが存在した場合、タイムスタンプをチェックするか指定できます。 タイムスタンプをチェックする場合、存在するファイルよりタイムスタンプが新しい場合にのみ上書きされますが、チェックしない場合はすべて上書きとなります。

データ移行状況を更新して確認します。

開始をクリック後、「データ移行を開始しました」と表示されますので、再度「データ移行ツール」画面に戻るとデータ移行状況が確認できます。**FTP ログダウンロード**をクリックすると、「web_mirror.log」のファイル名で FTP ログをダウンロードできます。

- ※ データ量によっては時間を要する場合がございますのでご了承ください。
- ※ データ移行に失敗した場合は入力情報が誤っている可能性がございますので、入力情報をご確認いただき、再度移行をお試しください。



アクセス

アクセス

「アクセス解析」、「アクセス制限」の設定、および、設定内容の確認が行えます。

Control Panel にログインし、左メニューの「アクセス」をクリックすると、Web へのアクセスに関する各種情報の一覧が表示されます。

右側の **詳細** をクリックすると、各項目確認や設定・編集が行えます。

ダッシュボード / アクセス

アクセス ?

対象サイト www.example.com

① アクセス解析 詳細

ログ保存	無圧縮で保存
保存日数	3日
Analog解析	する

② アクセス制限 詳細

海外Webアクセス制限 有効

新規追加 例) URL 検索

☐	URL	アクセス制限	ユーザー認証	ホスト制限
アクセス制限はありません。				

新規追加

アクセス解析

「アクセス」下の「アクセス解析」をクリックします。初期状態ではアクセス解析しない設定となっているため、**編集**をクリックします。



「ログ保存：する」にチェックを入れると項目が表示されます。

「Analog ログ解析：する」にチェックを入れるとさらに項目が表示されます。各項目を入力し、**保存**をクリックします。

ダッシュボード / アクセス / アクセス解析編集

アクセス解析編集 ?

対象サイト	www.example.com	
ログ保存	☒ する	
ログ保存形式	GNU Zip形式で保存 ▼ 保存形式を選択	
保存日数	90 日 最大100日までで任意指定	
Analogログ解析	☒ する	
Analogログ解析	レポートの言語 日本語 ▼	
レポートを書くディレクトリー	www.example.com/ analog www.ドメイン名 に存在するディレクトリーを指定	
レポートのファイル名	report.html 任意のファイル名	
除外するファイル		
除外するリモートホスト		

キャンセル **保存**

対象サイト	設定するサイト名です。
ログ保存	「する」にチェックを入れます。
ログ保存形式	どの形式ですかを指定します。 保存したログファイルはホームディレクトリ下のディレクトリ「access_log」の下に置かれます。 ※ログ解析を行う場合は、必ず 1 日以上ログの保存を行ってください。
保存日数	ログを保存する日数を指定します。これを越えたログファイルは自動的に消去されます。 日数は 100 日までです。これ以上の保存が必要な場合は FTP やファイルマネージャーでダウンロードを行ってください。
Analog ログ解析	「する」にチェックを入れます。
レポート言語	解析レポートの HTML の言語を指定します。日本語か英語が選択できます。
レポートを置くディレクトリ	解析レポートの HTML ファイルを保存するディレクトリです。 存在するディレクトリを指定してください。
レポートのファイル名	解析レポートの HTML ファイルの名前を指定します。
除外するファイル	解析にあたってアクセス記録から除外するファイル名を改行で区切って指定します。 入力書式は / からの絶対パスで記述してください。 指定は 255 文字まで入力できます。
除外するリモートホスト	解析にあたってアクセス記録から除外するアクセス元ホストを改行で区切って指定します。 ドメイン名や IP アドレスの指定が可能です。 指定は 255 文字まで入力できます。 例) 「192.168.」で始まるホストからのアクセスを解析から除く場合には、以下のように入力します。 192.168.*

設定した情報が表示されましたら設定完了です。

Web ブラウザより表示が可能なためレポートを置くディレクトリには、第三者が閲覧できないようアクセス制限を設定することをお勧めしております。

解析結果は、毎日解析対象期間の翌日中に更新され、基本設定で設定した場所に配信されます。表示方法は以下のとおりです。

ご契約ドメイン名：お客さまドメイン名

レポートを置くディレクトリ：analog

レポートのファイル名：report.html

<アクセス解析結果の表示 URL>

お客さまドメイン名/analog/report.html

アクセス制限

「アクセス制限」では、海外からのアクセス制限の設定や、任意の Web サイト（ディレクトリ）への BASIC 認証（ユーザー名/パスワード認証）の設置、特定 IP アドレスからのアクセスを制限することができます。

■海外 Web アクセス制限

海外からの不正なアクセスに対して、アクセスを制限したい場合などにご利用ください。

不正有無に関わらず海外からの Web サイトへのアクセスが不可となります。

なお、海外 Web アクセス制限の初期設定は「有効」となります。

- 無効：海外からのアクセスを許可している状態
- 有効：海外からのアクセスを制限している状態

海外からのアクセス制限の設定を変更したい場合は、Control Panel にログインし、「アクセス」から「アクセス制限」に進み、有効無効の表示部分をクリックして変更します。



海外 Web アクセス制限を有効にしたまま、海外の特定 IP アドレスからのアクセスだけ許可したい場合は、Web サーバーのアクセス制限をかけたいディレクトリに「.htaccess」ファイルを設置し、一部の IP アドレスを許可する設定に変更してください。

Allow From **許可したい任意の IP アドレス** ※任意の IP アドレスを入力します。

Deny From all

Order Deny,Allow

Satisfy any

例)

Allow From **192.0.2.0**

Deny From all

Order Deny,Allow

Satisfy any

■ユーザー認証（Basic 認証）の設定

任意の Web サイト（ディレクトリー）へのパスワード認証の設置や、特定 IP アドレスからのアクセスを制限することができます。

Control Panel にログインし、「アクセス」項目内の「アクセス制限」に進み、**新規追加**をクリックします。



必要な情報を入力して、**保存**をクリックします。

URL	設定したいディレクトリ名を入力 ※Web サイト全体に BASIC 認証をかけたい場合は、URL のフォームは空欄のままで問題ありません。
制限設定	ユーザー認証 の左上のラジオボタンにチェック
アラートメッセージ	BASIC 認証のウィンドウ内に表示させるメッセージを「半角小文字英数と記号（. - _）」で入力します。 ※日本語は使用できません。 ※BASIC 認証を示す.htaccess の記述内「Auth name」の内容に該当します。
ユーザー名	任意のユーザー名を入力します。 ※複数のユーザーを登録する場合は「[+]」さらに追加」部分をクリックして行を追加してください
パスワード	任意のパスワードを入力します。 ※1～32 文字の英数字と記号 ! # \$ % & () - ~ ^ _ [] * : ; , . ? @

.htaccess と.htpasswd

アクセス制限の「ユーザー認証（Basic 認証）」で設定すると、指定した対象のディレクトリに、以下のような「.htaccess」ファイルと「.htpasswd」ファイルが生成されます。

※ユーザー認証設定後、ファイルマネージャーからご確認いただけます。

✓ .htaccess

AuthType Basic

AuthName "アラートメッセージに入力した内容"

AuthUserFile /home/users/webXX/X/X/XXXXXXXXX/www.example.com/指定したディレクトリ/.htpasswd

Require valid-user

✓ .htpasswd

ユーザー名:ハッシュ化されたパスワード

■ホスト制限の設定

アクセス元のホスト名または IP アドレスを指定してアクセス制限をかけます。

Control Panel にログインし、「アクセス」項目内の「アクセス制限」に進み、**新規追加**をクリックします。



必要な情報を入力して、**保存**をクリックします。



URL	設定したいディレクトリ名を入力 ※Web サイト全体にホスト制限をかけたい場合は、URL のフォームは空欄のままでも問題ありません。
制限設定	ホスト制限 の左上のラジオボタンにチェック
アクセス制限	以下のいずれかを選択 アクセスを全て許可し禁止ホストを編集する。 アクセスを全て禁止し許可ホストを編集する。 高度な設定
禁止ホスト/許可ホスト	禁止または許可したいホスト名や IP アドレスを、空欄に入力します。 ※複数指定する場合、半角スペース（空白）や改行で区切って指定できます。 ※「all」と書くとすべてのアクセス元を指定したことになります。
パスワード	任意のパスワードを入力します。 ※1～32 文字の英数字と記号 ! # \$ % & () - ~ ^ _ [] * : ; , . ? @

➤ 特定のホストや IP アドレスからのアクセスを禁止する場合

「アクセスを全て許可し禁止ホストを編集する。」にチェックを入れ、「禁止ホスト」欄にホスト名または IP アドレスを入力し、**保存**をクリックします。

ホスト制限

アクセス制限

☒ アクセスを全て許可し禁止ホストを編集する。
☐ アクセスを全て禁止し許可ホストを編集する。
☐ 高度な設定

禁止ホスト

キャンセル 保存

➤ 特定のホストや IP アドレスからのみアクセスを許可する場合

「アクセスを全て禁止し許可ホストを編集する。」にチェックを入れ、「許可ホスト」欄にホスト名または IP アドレスを入力し、**保存**をクリックします。

ホスト制限

アクセス制限

☐ アクセスを全て許可し禁止ホストを編集する。
☒ アクセスを全て禁止し許可ホストを編集する。
☐ 高度な設定

許可ホスト

キャンセル 保存

➤ 高度な設定

「高度な設定」にチェックを入れ、「許可ホストのほうを優先的に実行」または「禁止ホストのほうを優先的に実行」にチェックを入れて「許可ホスト」「禁止ホスト」欄に ホスト名または IP アドレスを入力し、**保存**をクリックします。

ホスト制限

アクセス制限

- ☐ アクセスを全て許可し禁止ホストを編集する。
- ☐ アクセスを全て禁止し許可ホストを編集する。
- ☒ 高度な設定

適用順序

- ☒ 許可ホストのほうを優先的に実行
- ☐ 禁止ホストのほうを優先的に実行

いずれかを選択

許可ホスト

禁止ホスト

キャンセル 保存

■ユーザー認証 + ホスト制限の設定

ホスト制限が許可されており、かつ、ユーザー認証に成功した場合のみアクセスを許可します。

Control Panel にログインし、「アクセス」項目内の「アクセス制限」に進み、**新規追加**をクリックします。

必要な情報を入力して、**保存**をクリックします。

■ユーザー認証またはホスト制限の設定

ホスト制限が許可されている、または、ユーザー認証に成功した場合のどちらでもアクセスを許可します。

Control Panel にログインし、「アクセス」項目内の「アクセス制限」に進み、**新規追加**をクリックします。

必要な情報を入力して、**保存**をクリックします。

■アクセス制限の編集（一時的な停止を含む）

設定したアクセス制限の変更やユーザー認証の追加等が行えます。

Control Panel にログインし、「アクセス」項目内の「アクセス制限」に進み、対象項目右側の **詳細** をクリックします。



設定済みのアクセス制限の設定等を変更する場合は、左側の **編集** をクリックします。



内容を編集後、**保存** をクリックします。

一時的に制限を停止したい場合は「ユーザー認証・ホスト制限の両方を使用しない」にチェックを入れて無効化にします。

ダッシュボード / アクセス / アクセス制限 / アクセス制限編集

アクセス制限編集 ?

URL

海外Webアクセス制限 有効

制限設定

☐ **ユーザー認証** Basic認証（ユーザー名とパスワード入力）によるアクセス制限をかけます。

☐ **ユーザー認証** or **ホスト制限** ホスト制限が許可されている、またはユーザー認証に成功した場合のどちらでもアクセスを許可します。

海外Webアクセス制限を有効にしている場合

海外の中のある特定のアクセス元の情報を許可ホストに記入した場合、海外Webアクセス制限がかかっていた場合でも、その特定のアクセス元からはアクセスを許可します。



☒ **ユーザー認証・ホスト制限の両方を使用しない**

「ユーザー認証・ホスト制限の両方を使用しない」にチェックをいれて **保存** をクリックし、一覧に戻ると「無効」と表示されます。

ダッシュボード / アクセス / アクセス制限

アクセス制限 ?

任意のウェブページにパスワード認証を設置したり、特定のIPアドレスからのアクセスを制限することができます。

対象サイト

海外Webアクセス制限

無効 ☒ 有効

アクセス制限 新規追加

例) URL	検索
☐ URL	アクセス制限
☐ www.example.com/	無効 ユーザー認証 ホスト制限
	使用しない 使用しない 詳細

■認証ユーザーの追加登録

認証ユーザーを追加で登録する場合は、「アクセス」項目内の「アクセス制限」に進み、設定済みのアクセス制限左の **編集** をクリックします。続いて、アクセス制限詳細ページ下部の「ユーザー認証登録」右側の **新規追加** をクリックします。

ダッシュボード / アクセス / アクセス制限 / アクセス制限詳細

アクセス制限詳細 ?

URL

海外Webアクセス制限

ユーザー認証登録

☐ ユーザー名 ☐ パスワード ☐ コメント

ダッシュボード / アクセス / アクセス制限 / アクセス制限詳細 / ユーザー認証新規追加

ユーザー認証新規追加

URL

● ユーザー登録 ①

ユーザー名	パスワード ②	コメント
	パスワード自動生成	
田さらに追加		

○ CSV一括登録 ②

CSVファイルで、ユーザーを一括登録します。

CSVアップロード

☐ 既存のユーザーを上書きしない

○ テキスト一括登録 ③

CSV形式で記入し、ユーザーを一括登録します。
登録したデータは、既に登録済みのユーザーに追加されます。

例: yamada,yamada123,comments

認証ユーザーの追加は以下のいずれかの方法を選択し、ユーザー情報を入力後、**保存**をクリックします。

①ユーザー登録	1 件ずつ枠内にユーザー名、パスワードを登録していく方法です。 パスワード自動生成 をクリックすると、ランダムなパスワードが自動生成されます。
②CSV一括登録	登録情報を記載した CSV ファイルを用意してアップロードする方法です。 ▼書式 ユーザー,パスワード,コメント
③テキスト一括登録	枠内にユーザー名,パスワードを記入して登録する方法です。 ▼書式 ユーザー,パスワード,コメント

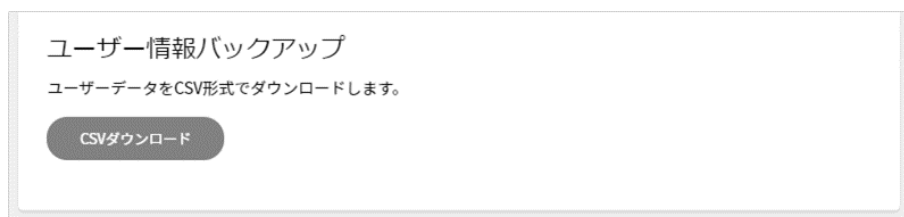
■認証ユーザーの CSV ダウンロード

登録してある認証ユーザーの情報をダウンロードできます。

Control Panel にログインし、「アクセス」項目内の「アクセス制限」に進み、対象項目右側の**詳細**をクリックします。



アクセス制限詳細ページ下部までスクロールし、「ユーザー情報バックアップ」の項目の**CSV ダウンロード**をクリックします。



■アクセス制限設定の削除

Control Panel にログインし、「アクセス」項目内の「アクセス制限」に進み、対象項目左側にチェックを入れ、**削除**をクリックします。

URL	アクセス制限	ユーザー認証	ホスト制限
☒ www.example.com/	<button>有効</button>	使用する	使用しない <button>詳細</button>

確認画面が表示されますので、**削除**をクリックします。

アクセス制限設定の削除

制限設定を削除しますか？

キャンセル 削除

一時的に制限を停止したい場合は「[アクセス制限の編集（一時的な停止を含む）](#)」の項目の無効化をご利用ください。

データベース

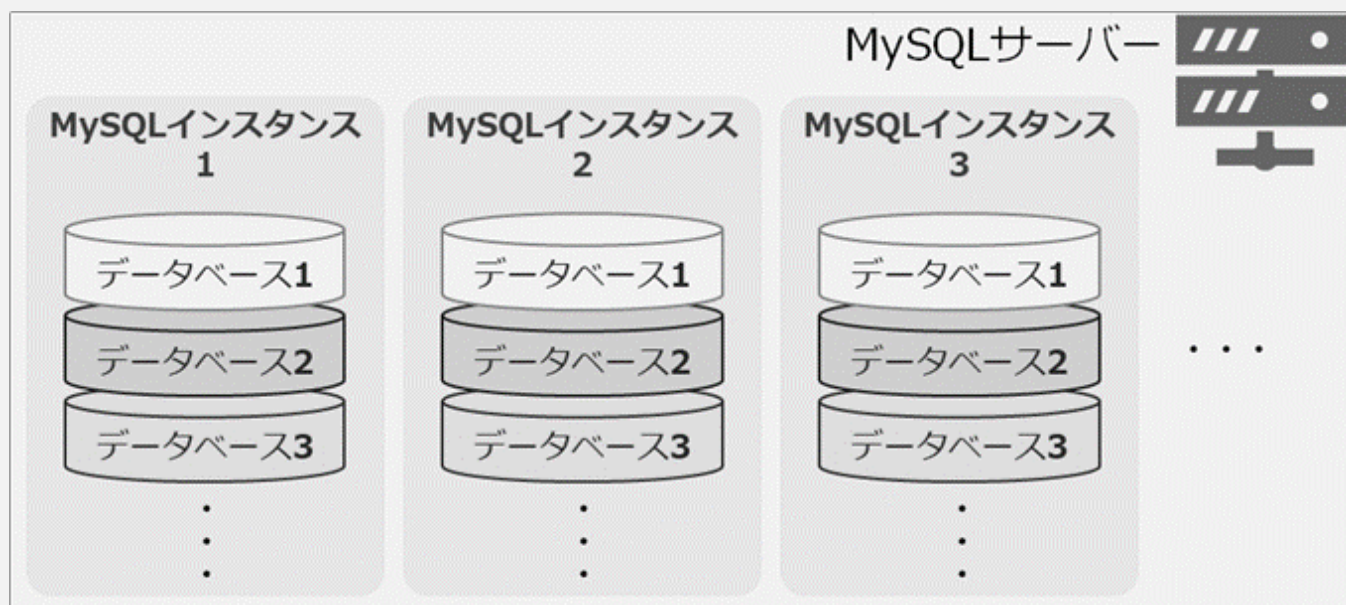
データベースのご利用には、別途、データベースオプションのお申し込みが必要です。

また、データベースの作成は、インスタンスを作成し、インスタンスの中にデータベースを作成するといった流れになります。

1. インスタンスの作成（1 インスタンスお申し込み後・初回のみ）
2. データベースの作成

※インスタンスとはデータベースを格納するフォルダのようなものです。（イメージ図参照）

インスタンスの作成は、契約者アカウント、および、メインドメインのドメイン管理者権限でのみ作成できます。



MySQL データベース（MySQL8.0/5.7）

■データベースの新規作成（インスタンスと 1 つ目のデータベースの作成）

契約者またはドメイン管理者で Control Panel にログインし、「データベース」から **インスタンス新規追加** をクリックします。



インスタンスおよびデータベース作成に必要な情報を選択および入力し、**保存**をクリックします。

ダッシュボード / データベース / インスタンス新規追加

インスタンスの作成 ?

① 使用ドメイン

☒ example.com専用
☐ 特定のマルチドメインも利用可能
☐ 全てのマルチドメインも利用可能

test.example.com ▼

② インスタンス設定

バージョン **必須**

MySQL 8.0 ▼

インスタンス生成後の変更はできません。
ご利用になるWebアプリケーションの動作要件を確認のうえ、選択してください。

パスワード **必須**

6~32文字の半角英数字 ⓘ

パスワード自動生成

コメント

入力できる文字数は半角64文字（全角32文字）までです。

③ 管理ユーザー

☒ 契約者 / ドメイン管理者
☐ サイト管理者も利用可能

④ データベース新規追加

データベース名

EX00_ 半角英数字のみ

コメント

入力できる文字数は半角64文字（全角32文字）までです。

キャンセル

保存

①使用ドメイン ※マルチドメインがない場合はこの項目の表示はございません。

専用	対象のインスタンスを申し込んだドメイン以外には表示されません。
特定のマルチドメインも利用可能	指定したマルチドメイン 1 個も情報参照と設定変更を行えます。 プルダウンから対象のドメイン名の指定が行えます。
全てのマルチドメインも利用可能	全てのマルチドメインが情報参照の設定変更を行えます。
②インスタンス設定	
バージョン	MySQL8.0 のみ 新規追加可能となっております。
パスワード	データベースの接続ユーザーのログインパスワードを設定します。 使用できる文字は A-Z、a-z、0-9 で、6 文字以上 32 文字までです。 セキュリティ保持のため、必ず大文字、小文字、数字を混在させてください。
コメント	コメントにはインスタンスの管理をする際に分かりやすいよう利用目的等を入力することをおすすめします。なお、コメントは省略可能です。

③管理ユーザー	
契約者/ドメイン管理者	標準では契約者およびドメイン管理者のみが MySQL インスタンスの管理を行えますが、チェックを入れるとサイト管理者も情報参照や設定変更を行えます。
④データベース新規追加	
データベース名	データベースに任意の名前を付けられます。 使用できる文字は A-Z、a-z、0-9、アンダーバー（_）で、1 文字以上 20 文字までです。 指定したデータベース名の先頭には、ドメインごとのプレフィックス（接頭辞）が付きます。
コメント	入力できる文字数は半角 64 文字（全角 32 文字）までです。 コメントにはインスタンスの管理をする際に分かりやすい利用目的等を入力することをおすすめします。 なお、コメントは省略可能です。

「インスタンスを作成しました」と表示されたら作成完了です。

左メニュー「データベース」の一覧に、インスタンスとデータベースが表示されていますので、ご確認ください。

■インスタンスの編集

作成されているインスタンスの各種情報変更や、パスワードの確認・変更が行えます。

データベースサーバー名、ポート番号、接続ユーザー名は、固定のため変更は行えません。

契約者またはドメイン管理者で Control Panel にログインし、「データベース」からインスタンス枠右側の **詳細情報** をクリックします。



パスワードの確認のみの場合は、**表示** をクリックするとパスワードが表示されます。内容の編集を行う場合は、**編集** をクリックします。



内容を変更後、**保存**をクリックします。

※「使用ドメイン」の欄は、マルチドメインをご利用の場合のみ表示されています。

✕

インスタンス編集

バージョン	MySQL 8.0
インスタンス名	INSTANCE_NAME
データベースサーバー	
ポート番号	10038
接続ユーザー名	CONNECTED-USER
パスワード	 👁 パスワード自動生成
使用ドメイン	☒ example.com専用 ☐ 特定のマルチドメインも利用可能 ☐ 全てのマルチドメインも利用可
管理ユーザー	契約者 / ドメイン管理者 ☒ サイト管理者も利用可能
コメント 入力できる文字数は半角64文字（全角32文字）までです。	

キャンセル

保存

「インスタンスを編集しました」と表示されたら変更完了です。

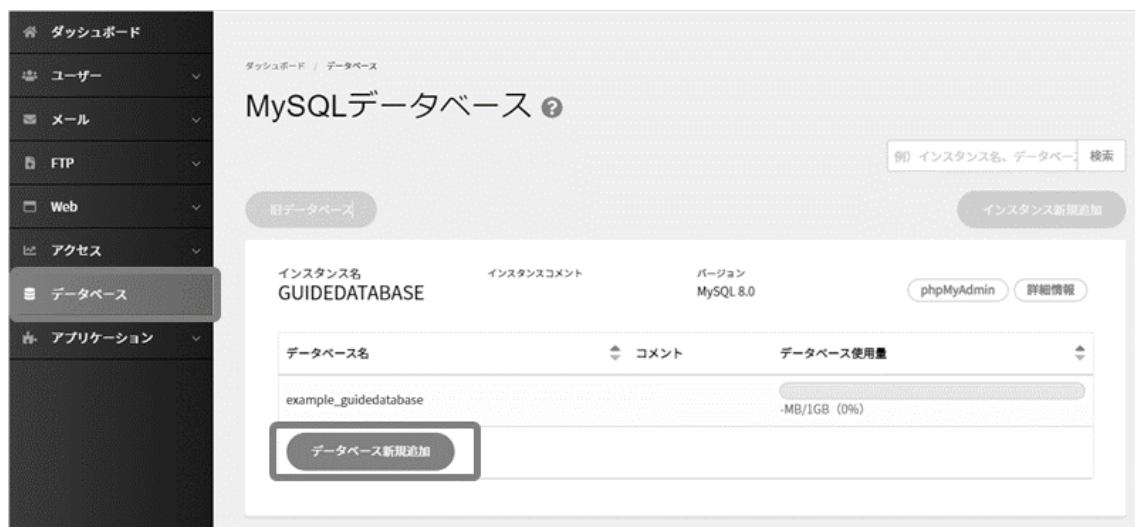
パスワードを変更する場合には、インスタンス内にあるデータベースの接続ユーザー名のパスワードがすべて変更されます。
アプリケーション等に連携されている場合には、設定ファイルに記述しているパスワード情報も変更が必要です。
例：WordPress でご利用されている場合、wp-config.php ファイル内のパスワード記載欄の変更が必要です。

■データベースの作成

1 つ目のデータベースはインスタンス作成と同時に作成しています。

以下の手順は 2 つ目以降のデータベースを作成する場合の手順となります。

契約者またはドメイン管理者で Control Panel にログインし、「データベース」から **データベース新規追加** をクリックします。



データベース名とコメント（任意：空欄可）を入力し、**保存** をクリックします。

データベース新規追加

データベース名 必須

prefix_

コメント

キャンセル

保存

①データベース名	データベースに任意の名前を付けられます。 使用できる文字は A-Z、a-z、0-9、アンダーバー（<code>_</code>）で、1 文字以上 20 文字までです。 指定したデータベース名の先頭には、ドメインごとのプレフィックス（接頭辞）が付きます。
②コメント	入力できる文字数は半角 64 文字（全角 32 文字）までです。 コメントにはインスタンスの管理をする際に分かりやすい利用目的等を入力することをおすすめします。 なお、コメントは省略可能です。

「データベースを作成しました」と表示されたら作成完了です。

■データベースの編集

契約者またはドメイン管理者で Control Panel にログインし、「データベース」からインスタンス枠右側の **詳細情報** をクリックします。



画面を下にスクロールし、対象データベース右側の **編集** をクリックします。



データベース情報（コメント）を編集し、**保存** をクリックします。

データベース編集

データベース名 必須 01xx_guide01234567_wp1

コメント WordPress用

キャンセル 保存

■データベースの削除

契約者またはドメイン管理者で Control Panel にログインし、「データベース」からインスタンス枠右側の **詳細情報** をクリックします。



画面下部に表示される対象データベース左側のチェックボックスにチェックし、 **削除** をクリックします。



確認画面が表示されますので、 **削除** をクリックします。



■phpMyAdmin へのアクセス

契約者またはドメイン管理者で Control Panel にログインし、「データベース」からインスタンス枠右側の **phpMyAdmin** をクリックします。



別タブで phpMyAdmin のログイン画面が立ち上がり、左側にデータベース一覧が表示されます。



データベース設定/旧データベース（MySQL5.1）

「旧データベース」は、旧 Control Panel でご利用いただいていた MySQL5.1 までの、古いバージョンのデータベースを管理するための機能です。

MySQL5.1 は開発元による不具合・脆弱性のサポート提供が終了しているため、新しいバージョンへの移行を推奨しております。
また、MySQL4 および PostgreSQL はこの画面からはご利用いただけません。

■データベースの設定

契約者またはドメイン管理者で Control Panel にログインし、「データベース」から左側の **旧データベース** をクリックします。

※旧データベースのご利用がない場合、グレイアウトしてクリックできないようになっています。



画面右側の **データベース新規追加** をクリックします



データベースを使用するドメインやパスワードなどを入力し、**保存**をクリックします。

※MySQL5.1 のデータベース名（接続ユーザー名）はシステム内部で決定されるため、ご入力できません。

使用ドメイン	プルダウンから対象ドメインを選択します。
コメント	用途などを記載します。 ※省略可能
パスワード	データベースのパスワードを設定します。 ※WordPress などの CMS の 設定時に必要となりますので、控えておいてください。

データベースを追加した旨のポップアップが出たら追加完了です。

■データベースの確認・編集

作成された「データベース」の右側にある**詳細情報**をクリックします。

作成されたデータベースへの接続情報がご確認いただけます。

ディスク使用量 21.4MB / 1000MB (2.1%)

① バージョン

mysql5.1

② データベース名

DATABASEo1

③ データベースサーバー

mysql000.in.shared-server.net

④ ポート番号

39233

⑤ パスワード

.....

表示

⑥ 使用ドメイン

指定なし

⑦ 他ドメインでの表示

する

⑧ コメント

編集

バックアップ

リストア

①バージョン	MySQL のバージョンが表示されます。
②データベース名(接続ユーザー名)	データベース名が表示されます。接続ユーザー名は、データベース名と同じです。
③データベースサーバー	データベースのサーバー名が表示されます。
④ポート番号	データベースが使用しているポート番号が表示されます。
⑤パスワード	データベース接続時のパスワードになります。 右側の表示ボタンをクリックするとパスワードのマスク表示が解除されます。 画面下部の 編集 をクリックすると、パスワードの変更が行えます。
⑥使用ドメイン	データベースを利用するドメインが表示されます。 画面下部の 編集 をクリックすると、使用するドメインの変更が行えます。
⑦他ドメインでの表示	他ドメインで表示させるかどうかが表示されます。 画面下部の 編集 をクリックすると、使用するドメインの変更が行えます。
⑧コメント	編集画面にて追加したコメントが表示されます。 画面下部の 編集 をクリックすると、コメントの変更が行えます。

データベースのバックアップ

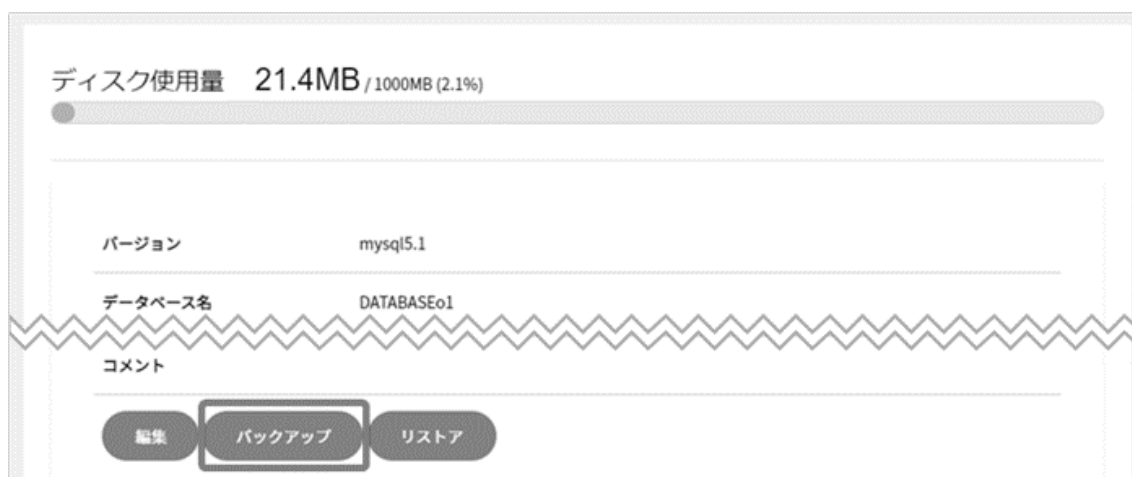
契約者またはドメイン管理者で Control Panel にログインし、「データベース」から左側の **旧データベース** をクリックします。



作成された「データベース」の右側にある **詳細情報** をクリックします。



表示されたデータベース詳細情報の **バックアップ** をクリックします。



ダンプファイルを直接ダウンロードするか、Web 領域へのバックアップをするかどちらかをご選択いただけます。

ダッシュボード / データベース / 旧データベース / バックアップ

バックアップ ?

対象データベース DATABASEo1

ダウンロード

ダンプファイルをダウンロードできます (200MBまで)

出力ファイルの文字コード

- EUC-JP
- EUC-JP
- UTF-8
- Shift_JIS

ダウンロード

バックアップ

Web領域にダンプファイルを保存します。

出力先: /database_DATABASEo1/DATABASEo1_(作成日時).txt

保存先ドメイン example.com

バックアップ

バックアップにはお時間がかかる場合があります。

再度、バックアップの画面まで移動し、「データベースのバックアップが完了しました。」と表示されていればバックアップ完了です。

ダッシュボード / データベース / 旧データベース / バックアップ

バックアップ ?

処理状況

データベースのバックアップが完了しました。

OK

➤ Web 領域へのバックアップの確認

Web 領域へのバックアップを選択した場合、ファイルマネージャーよりバックアップ用のフォルダが作成されておりますので、その中にバックアップデータが保存されているかご確認ください。



■データベースのリストア

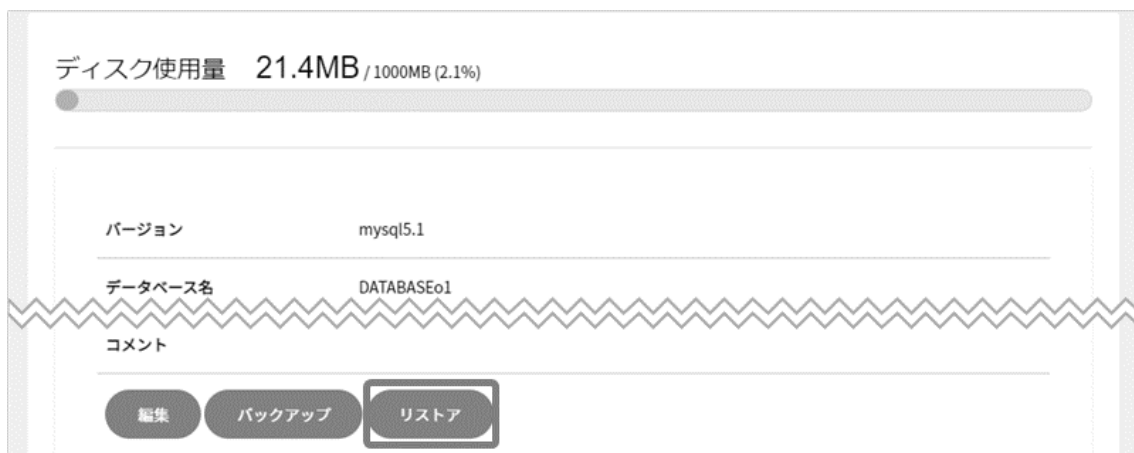
契約者またはドメイン管理者で Control Panel にログインし、「データベース」から左側の **旧データベース** をクリックします。



作成された「データベース」の右側にある**詳細情報**をクリックします。



表示されたデータベース詳細情報の**リストア**をクリックします。



ダンプファイルを直接アップロードするか、Web 領域にあるバックアップをリストアするかどうかをご選択いただけます。

開始 をクリックすると、確認画面が表示されますので、**リストアする** をクリック。

ダッシュボード / データベース / 旧データベース / リストア

リストア ?

データベースをリストアできます。現在のデータは削除されます。

対象データベース

DATABASEo1

① ファイルから

ダンプファイルをアップロードしてデータベースをリストアします (200MBまで)

ファイル選択

DATABASEo1_ .txt

ファイルの文字コード

UTF-8

開始

② バックアップから

Web領域のバックアップからデータベースをリストアします。

保存先ドメイン

example.com

	ファイル名	作成日時
☐	DATABASEo1_ .txt	2021/04/15 19:03
☒	DATABASEo1_ .txt	2023/01/10 11:42

開始

キャンセル

データリストア

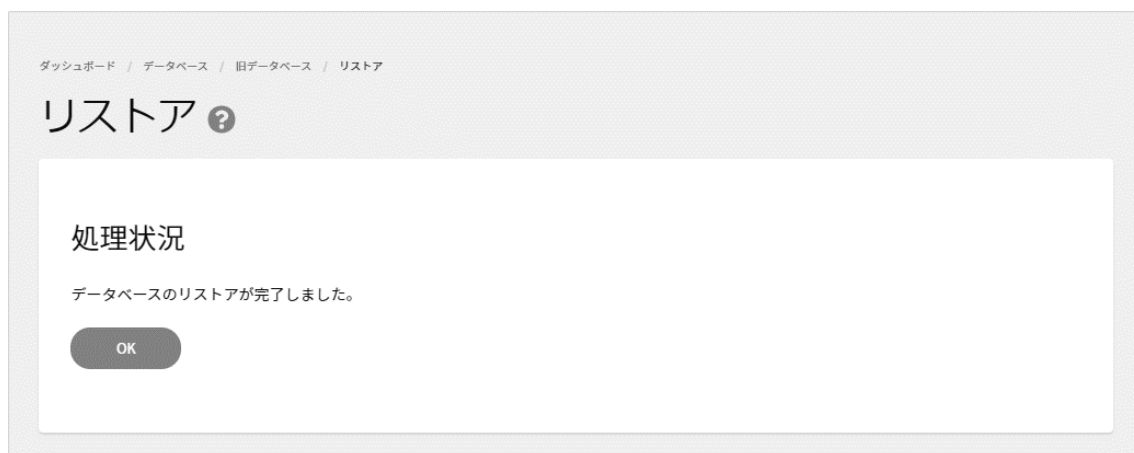
データベースの内容は上書きされます。
本当にデータをリストアしますか？

キャンセル

リストアする

リストアにはお時間がかかる場合があります。

再度、リストアの画面まで移動し、「データベースのリストアが完了しました。」と表示されていればリストア完了です。



アプリケーション

アプリインストーラー

WordPress（ワードプレス）など広く利用されている人気アプリケーションや、掲示板、アクセスカウンタ、フォームメールなど利用頻度の高い CGI のインストールと設定管理ができます。

※WordPress など、データベースが必要なアプリケーションをインストールする場合は、事前にデータベースを作成しておく必要があります。

インストール

「アプリケーション」から「アプリインストーラー」に進み、利用したいアプリケーションにチェックをいれ、**インストール設定に進む**をクリックします。



■WordPress

ダッシュボード / アプリケーション / アプリインストーラー / インストール

インストール

アプリケーション **WordPress**

インストール先ディレクトリ **必須** 公開先URL

MySQLデータベース データベース選択 **必須** インスタンス **必須** データベース

テーブル接頭辞 **必須** ※ 基本的に変更する必要はございません。

PHPのバージョン バージョン選択 ※ 動作が高速な PHP 7.4以上の利用を推奨しています。
※ バージョンを変更すると対象サイトに設置された全てのPHPプログラムに反映されます。
※ 利用されるプラグインやテーマによっては選択したPHPバージョンでは正常に動作しない場合があります。

利用規定 **必須**

- CGIスクリプトを利用するにあたって、配布元の利用規定に同意する必要があります。配布元のウェブサイト (<http://ja.wordpress.org/>) にてご確認ください。
- CGIスクリプトが正常に動作することは確認済みですが、CGIスクリプトをお客さまにて改良された場合にはサポートの対象外となりますのでご了承ください。
- インストール後のCGIスクリプトの利用方法およびカスタマイズ方法については、サポート対象外となりますのでご了承ください。
- 当社はお客さまが当サイトで提供しているCGIスクリプトを利用することによって、お客さまに生じた如何なる損害について一切の責任を負いません。

☒ 承諾する

キャンセル

公開 URL	公開するサイトの URL(ディレクトリ)を、空白以外の任意で指定します。 ※空白ではなく、ディレクトリ名をご入力ください。
インスタンス	プルダウンから選択します。選択肢がない場合は、インスタンスの作成が行われていないため、MySQL データベース画面でインスタンスの設定を行ってください。
データベース	プルダウンからデータベースを選択します。アプリケーション用のデータベースを用意していない場合は、新規作成を選択すると、インストール時にデータベースが作成されます。
データベース名	※上記で「新規作成」を選択した場合のみ表示されます。データベース名を入力します。
コメント	※上記で「新規作成」を選択した場合のみ表示されます。データベース名に任意のコメントを追加できます。(省略可)初期値で年月日とアプリケーション名が入っています。
PHP バージョン選択	推奨環境は、最新バージョンでのご利用をご検討ください。 公式サポートが終了になっている場合には、動作に影響がないかご確認ください。
承諾する	チェックを入れます。

■Movable Type

ダッシュボード / アプリケーション / アプリインストーラー / インストール

インストール

アプリケーション Movable Type

インストール先ディレクトリー **必須** 公開先URL

MySQLデータベース データベース選択 インスタンス **必須** GUIDEDATABASE

データベース **必須** prefix_guide

Movable Type設定 **必須** 連絡用メールアドレス

※ パスワード再設定や新着コメントをお知らせします。

利用規定 **必須**

- CGIスクリプトを利用するにあたって、配布元の利用規定に同意する必要があります。配布元のウェブサイト (<http://www.sixapart.jp/movabletype/>) にてご確認ください。
- CGIスクリプトが正常に動作することは確認済みですが、CGIスクリプトをお客さまにて改良された場合にはサポートの対象外となりますのでご了承ください。
- インストール後のCGIスクリプトの利用方法およびカスタマイズ方法については、サポート対象外となりますのでご了承ください。
- 当社はお客さまが当サイトで提供しているCGIスクリプトを利用することによって、お客さまに生じた如何なる損害について一切の責任を負いません。

☒ 承諾する

キャンセル

公開 URL	公開するサイトの URL(ディレクトリ)を、空白以外の任意で指定します。 ※空白ではなく、ディレクトリ名をご入力ください。
インスタンス	プルダウンから選択します。選択肢がない場合は、インスタンスの作成が行われていないため、MySQLデータベース画面でインスタンスの設定を行ってください。
データベース	プルダウンからデータベースを選択します。アプリケーション用のデータベースを用意していない場合は、新規作成を選択すると、インストール時にデータベースが作成されます。
データベース名	※上記で「新規作成」を選択した場合のみ表示されます。 データベース名を入力します。
コメント	※上記で「新規作成」を選択した場合のみ表示されます。 データベース名に任意のコメントを追加できます。(省略可) 初期値で年月日とアプリケーション名が入っています。
メールアドレス	管理用のメールアドレスを入力します。
承諾する	チェックを入れます。

アンインストール

「アプリケーション」から「アプリインストーラー」に進み、インストール済みアプリを表示 をクリックします。



削除対象アプリケーションの右側の削除 をクリックします。 ※このボタンをクリックしてもまだ削除はされません。



確認画面が表示されますので、内容を確認の上、削除 をクリックします。



「選択したアプリケーションのアンインストールが完了しました。」と表示されたら完了です。

※アプリケーションで使用していたデータベースが不要な場合にはデータベースの削除を行ってください。



標準 CGI

「アプリケーション」から「アプリインストーラー」に進み、標準 CGI の下部に表示される **管理画面を表示** をクリックします。



利用可能な CGI の一覧が表示されますので、適宜設定を行ってください。

設定方法は、旧 Control Panel ご利用時と同様の操作となります。

- 簡易掲示板
- スレッド式掲示板
- アクセスカウンタ
- フォームメール
- ランダムバナー
- ランダムリンク
- ランダムテキスト
- タイムテキスト

各種パス

Document root（絶対パス）	ControlPanel ログイン＞ Web より確認できます。
PHP のパス	実行されるバージョンが 5.6 の場合 /usr/local/php/bin/php /usr/local/php5/bin/php /usr/local/php56/bin/php 実行されるバージョンが 7.2 の場合 /usr/local/php7/bin/php /usr/local/php72/bin/php 実行されるバージョンが 7.4 の場合 /usr/local/php74/bin/php 実行されるバージョンが 8.1 の場合 /usr/local/php81/bin/php 実行されるバージョンが 8.4 の場合 /usr/local/php84/bin/php
Perl のパス	/usr/bin/perl /usr/local/bin/perl Perl のモジュール一覧は別途まとめております
sendmail のパス	/usr/sbin/sendmail
Python のパス	/usr/local/python3/bin/python3
Ruby のパス	/usr/bin/ruby /usr/local/bin/ruby
CGI のディレクトリ	CGI を動作させるディレクトリに指定はありません。